

埼玉県立自然の博物館報

第19号

令和6年度（2024）



埼玉県立自然の博物館

目次

埼玉県立自然の博物館の使命について	1
Ⅰ 沿革	2
Ⅱ 組織及び職員構成	4
Ⅲ 施設の概要	5
Ⅳ 展示の概要	6
Ⅴ 令和6年度事業計画	
1 中期重点目標と取組	7
2 管理運営事業	7
3 展示事業	7
4 教育普及事業	9
5 資料収集整理事業	11
6 調査研究事業	12
7 博物館評価会議	13
Ⅵ 令和5年度事業報告	
1 管理運営事業	14
2 展示事業	16
3 教育普及事業	19
4 資料収集整理事業	29
5 調査研究事業	33

表紙：プテロトリゴニア *Pterotrigonia pocilliformis*

前期白亜紀の海に生息したサンカクガイ科の二枚貝です。厚い三角形の殻と、太く湾曲した肋が見られます。埼玉県内では、小鹿野町に分布する前期白亜紀の地層（山中白亜系）から化石が見つかります。サンカクガイの仲間は、中生代に世界中の海で大繁栄しましたが、現在はオーストラリア周辺に数種が生き残るのみとなっています。

埼玉県立自然の博物館の使命について

県立自然と川の博物館は、自然及び川と人々の暮らしとの関わりに関する資料の収集・保管及び調査研究を行うとともに、その活用を図り、もって教育、学術及び文化の発展に寄与する博物館です。

自然の博物館は、「過去から未来へ埼玉3億年の旅 そして自然と人との共生」をテーマに、自然資料を収集・保管し、調査研究して将来へ継承し、情報を発信します。

また、学習を支援して、自然に関心を持つよう人材を育成し、様々な人との連携・交流を進めます。

川の博物館と連携し、県内唯一の自然系総合博物館として、秩父地域から埼玉全域へと視野を広げ、県民のみなさんとともに考え行動しながら、旺盛な博物館活動を展開していきます。

1 自然史資料を収集・保管し、調査研究して、将来へ継承します。（データバンク機能）

自然史分野を総合的に扱える県内唯一の博物館として、埼玉の自然とその変遷に関する生物・岩石・化石資料や、自然と人との共生に関する資料を収集・整理・保管します。また、これらの資料を調査研究し、埼玉の自然について明らかにしていくとともに、資料価値を高め将来へ遺します。

2 資料を活用し、多彩な情報を発信します。（情報発信機能）

「過去から未来へ 埼玉3億年の旅 そして自然と人との共生」をテーマに、展示や教育普及活動などを通じて、県民をはじめとする広範な人々へ情報を提供します。利用者の多様なニーズに合わせ、自然に親しむための情報や調査研究に基づく学術情報など、魅力的な情報を発信します。

3 学習を支援し、自然に関心をもつ人材を育成します。（学習支援・人材育成機能）

学校や社会教育施設、地域社会を対象に、地域の自然や館有資料を活用した体験学習を推進・支援します。これらの体験学習や展示を通じて、人々の知的好奇心を刺激し、自然に関心をもつ人材の育成に貢献します。

4 様々な人々と連携・交流を進めます。（連携・交流・啓発機能）

自然に関心をもつ個人、地域社会、関係機関・諸団体と連携・交流を進めます。こうしたネットワークを少しずつ広げながら、人・もの・情報が集まる博物館とすることにより、相互のレベルアップを図っていきます。

I 沿革

昭和

51. 12 埼玉県中期計画に基づき自然系博物館の建設計画検討
52. 5 準備事務を県民文化課から文化財保護課に引継
52. 11 県立自然系博物館建設基本計画決定
52. 11. 16 埼玉県立自然系博物館建設基本構想策定協議会委員 14 名委嘱
53. 4. 1 自然系博物館設立準備委員 2 名発令
53. 6. 16 自然系博物館建設敷地決定（長瀨町）
54. 2. 6 埼玉県立自然系博物館展示構想策定委員 4 名委嘱
54. 4. 1 準備委員 4 名発令（2 名増員）、建設敷地等について秩父鉄道（株）と協定締結
54. 9. 25 建築基本及び実施設計を前川国男建築設計事務所へ委託
55. 4. 1 埼玉県立自然史博物館（仮称）準備事務所開所、職員所長以下 5 名発令
55. 4. 17 埼玉県立自然史博物館（仮称）建築工事起工式挙行
55. 9. 19 展示企画・基本設計委託（7 社）
55. 10. 1 準備事務所職員 1 0 名発令（5 名増員）
56. 1. 26 展示実施設計を（株）日展に委託
56. 3. 31 建築工事完成
56. 4. 1 準備事務所職員 1 9 名発令
56. 4. 30 展示製作業務を（株）日展と契約
56. 10. 30 展示工事完成
56. 11. 10 埼玉県立自然史博物館条例、同管理規則施行
埼玉県立自然史博物館開館、館長須藤和人以下職員 18 名発令
56. 11. 11 一般公開
56. 12. 3 博物館法第 10 条による博物館登録
59. 4. 1 館長 三友清史発令
60. 10. 9 入館者累計 50 万人達成
60. 12. 9～21 アケボノゾウ骨格化石発掘調査
61. 4. 1 館長 紺野雄三発令
3. 10. 19～11. 24 開館 10 周年記念特別展「よみがえる太古の巨大ザメ」開催
5. 5. 12 天皇・皇后行幸啓
5. 12. 12 「日本地質学発祥の地」記念碑建立式典挙行
6. 4. 1 館長 中島利治発令
6. 10. 1 入館者累計 150 万人達成
6. 11. 21 新化石種「チチブサワラ」公表
7. 2. 28 身障者用エレベーター設置
7. 3. 15 映像展示「地形の変遷」改修
7. 12. 25 映像展示「ミクロ・マクロの世界」改修
8. 3. 27 第 1～第 3 収蔵庫空調機オーバーホール
9. 3. 31 吸収冷温水発生機修繕工事
9. 7. 22 地形模型、変成岩パネル等展示改修
9. 7. 25 秋篠宮殿下同妃殿下お成り
9. 10. 31 冷却塔水処理装置工事
10. 2. 28 特別収蔵庫空調機器交換工事
10. 4. 1 館長 梅沢太久夫発令
10. 9. 30 公共下水道接続工事
11. 3. 19 「パレオパラドキシア」埼玉県天然記念物指定（埼玉指第 462・463 号）
11. 5. 30 生物展示ホール「シャクナゲ咲く初夏の原生林」・「暗黒の世界鍾乳洞」にタッチライト設置
11. 7. 17～8. 31 特別展「アユの生活誌」をさいたま川の博物館と共催
12. 4. 1 館長 増田逸朗発令
12. 8. 15 入館者累計 200 万人達成
12. 8. 23 生物展示ホール「みどりこい夏のアカマツ林」にタッチライト設置
12. 10. 1 館長 大友務発令
13. 5. 8 生物展示ホール「冬枯れの雑木林と池や沼」にタッチライト設置
14. 3. 18 生物展示ホール照明改修
14. 3. 26 身障者用駐車場改修
14. 6. 21 パレオパラドキシア般若標本の産出状態レプリカを展示
14. 8. 9 オリエンテーションホールの照明改修
14. 10. 5～12. 8 特別展「奥秩父の自然」開催
14. 10. 8～12. 8 特別展「ヤマネー森に棲むもの 西村豊写真展」開催

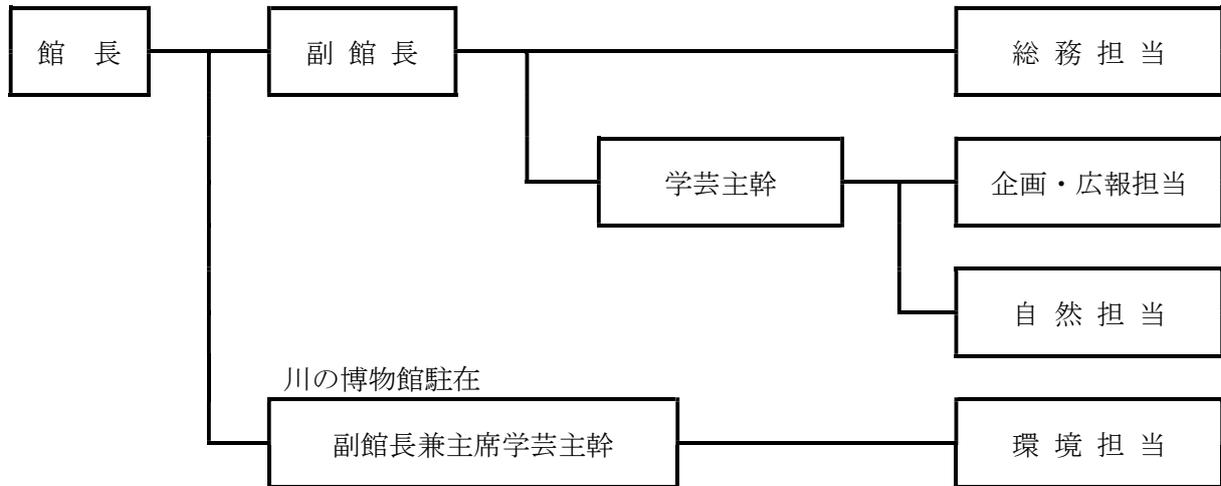
平成

1. 4. 1 館長 島田道郎発令
2. 4. 21 入館者累計 100 万人達成
3. 3. 12 日本生命財団から展示総合案内寄贈
3. 4. 1 館長 大熊欽一発令

15. 4. 1 館長 谷井彪発令
 15. 10. 4～12. 9 特別展「里山の自然」開催
 16. 12. 27 駐車場改修工事完了（第二工区）
 17. 3. 22 「大野原産チチブクジラ骨格化石」埼玉県天然記念物指定（埼玉指第 503 号）
 17. 4. 1 館長 柿沼幹夫発令
 17. 10. 8～12. 4 特別展「石の用と美」開催
 18. 4. 1 県立博物館施設の再編により「県立自然の博物館」設置
 18. 4. 1 館長 柿沼幹夫発令（川の博物館長と兼務）
 18. 7. 22～9. 3 特別展「巨大昆虫の世界」開催
 19. 4. 1 館長 本間岳史発令（川の博物館長と兼務）
 19. 11. 23 入館者累計 250 万人達成
 20. 2. 2 展示室リニューアルオープン
 20. 4. 1 館長 本間岳史発令（兼免）
 20. 4. 1 環境担当（川の博物館常駐）を設置
 20. 7. 20～8. 31 特別展「巨大昆虫の世界 II」開催*
 21. 4. 1 館長 鈴木敏昭発令
 21. 7. 18～8. 81 特別展「埼玉圏の原始・古代人」開催*
 22. 4. 1 館長 井上肇発令
 22. 9. 18～11. 14 特別展「葉の世界—そのかたちと利用を探る—」開催*
 23. 4. 1 館長 根岸玲発令
 23. 9. 1～24. 10. 5 施設改修のため休館
 （講師派遣等館外で行う事業は実施）
 23. 9. 17～11. 20 特別展「発掘・発見 埼玉のふるさと 秩父のおごっつおう」開催*
 24. 4. 1 館長 渋谷重雄発令
 24. 7. 14～9. 2 特別展「今だって氷河時代」開催*
 24. 10. 6 リフレッシュオープン
 25. 4. 1 館長 井上尚明発令
 25. 7. 13～9. 1 特別展「和船大図鑑—荒川をつなぐ舟・ひと・モノ—」開催*
 26. 4. 1 館長 井田秀夫発令
 26. 6. 11～10. 26 特別展「恐竜時代 ～海と陸の支配者たち～」開催
 26. 10. 4～11. 24 特別展「荒川流域の鉱山と産業 ～地下資源の利用と人々の暮らし～」開催*
 27. 7. 11～8. 31 特別展「うんち・糞・フン ～ダンゴムシからゾウまで～」開催
 27. 7. 18～8. 31 特別展「魚と人の知恵くらべ ～魚の生態と伝統漁法～」開催*
 28. 3. 1 国天然記念物「古秩父湾堆積層及び海棲哺乳類化石群」指定（パレオパラドキシア及びチチブクジラ計 3 件県指定解除埼玉指第 462、463、503 号）
 28. 4. 1 館長 中村修美発令
 28. 4. 1～6. 19 特別展「都幾川・槻川」開催*
 28. 8. 12 入館者累計 300 万人達成
 28. 9. 24～29. 1. 15 特別展「現代有用植物展 ～暮らしと植物のステキな関係～」開催
 29. 4. 1 館長 木村博昭発令
 29. 7. 15～9. 3 特別展「神になったオオカミ ～秩父山地のオオカミとお犬様信仰～」開催*
 29. 9. 23～30. 1. 14 特別展「秩父鉱山 ～140種の鉱物のきらめき～」開催
 30. 6. 30～9. 2 特別展「ハチを知る」開催
 30. 11. 3～31. 1. 6 特別展「カモ・鴨 ～見・知・獲・食～」開催*
 31. 4. 1 館長 飯田徹発令
- 令和**
1. 7. 6～2. 1. 13 特別展「知って！埼玉 化石でたどる 2000 万年」開催
 1. 7. 13～1. 9. 1 特別展「根・子・ネズミ ～ネズミワールドへようこそ～」開催*
 2. 7. 11～2. 9. 6 特別展「楽しい美味しい江戸の水辺」開催*
 2. 9. 26～3. 2. 28 特別展「埼玉記念物 100 年 —埼玉の天然記念物ってどう思いますか？—」開催
 3. 4. 1 館長 橋本強発令
 3. 7. 10～3. 8. 31 特別展「すみか ～身近なすみかを見てみよう～」開催*
 3. 7. 30 「チチブサワラ骨格化石」埼玉県天然記念物指定（埼玉指第 571 号）
 3. 10. 30～4. 2. 27 特別展「自然の博物館 100 年の軌跡」開催
 4. 4. 1 館長 田沼康雄発令
 4. 7. 9～4. 8. 31 特別展「海なし雪なし火山なし —ないけどある！埼玉との深い関係—」開催*
 4. 10. 29～5. 2. 26 特別展「The 蛇紋岩」開催
 4. 11. 11 入館者累計 350 万人達成
 5. 7. 8～5. 8. 31 特別展「うんち・糞・フン II」開催*
 5. 10. 28～6. 2. 25 特別展「埼玉シェルワールド—貝からひも解く埼玉の自然—」開催
 6. 4. 1 館長 高津導発令
- *印 企画＝自然の博物館、実施＝川の博物館

II 組織及び職員構成（令和6年度）

1 組織



2 職員構成（令和6年4月1日現在）

館長 高津 導
 副館長兼主席学芸主幹 岩田 明 広
 副館長 新井 祐 司
 ○総務担当
 担当課長 菊池 拓 真
 主任 渡邊 杏 里
 主事 光山 馨 心
 ○企画・広報、自然担当
 学芸主幹 井上 素 子
 ○企画・広報担当
 担当部長 加藤 浩 一
 担当課長 横田 淳
 主事 小柴 あかり

○自然担当
 主任学芸員 小林 まさ代
 主任学芸員 奥村 みほ子
 学芸員 木山 加奈子
 学芸員 山岡 勇太
 学芸員 本多 里奈
 学芸員 岩浪 創
 学芸員 高橋 美織

○環境担当
 主任学芸員 北川 博道
 学芸員 半田 宏伸

※ 副館長兼主席学芸主幹、環境担当は川の博物館駐在。

3 人事異動

令和6年3月31日

館長 田 沼 康 雄 (転出)
 副館長兼主席学芸主幹 西 口 由 子 (退職)
 総務担当主任 松 岡 敬 弘 (転出)
 企画・広報担当主事 丸 山 要 (転出)

令和6年3月31日

自然担当学芸員 高橋 美織 (任期満了)

令和6年4月1日

館長 高津 導 (転入)
 副館長兼主席学芸主幹 岩田 明 広 (配置転換)
 学芸主幹 井上 素子 (配置転換)
 総務担当主任 渡邊 杏里 (転入)
 企画・広報担当主事 小柴 あかり (転入)
 自然担当主任学芸員 奥村 みほ子 (配置転換)
 自然担当学芸員 岩浪 創 (新採用)
 自然担当学芸員 高橋 美織 (臨時的任用)
 環境担当学芸員 半田 宏伸 (配置転換)

Ⅲ 施設の概要

1 所在地

埼玉県秩父郡長瀬町長瀬1417番地の1

2 敷地面積

9,948.76㎡

3 建物の構造及び床面積

鉄筋コンクリート、2階建、建築面積 2,068.6㎡ 延床面積 3,022.29㎡

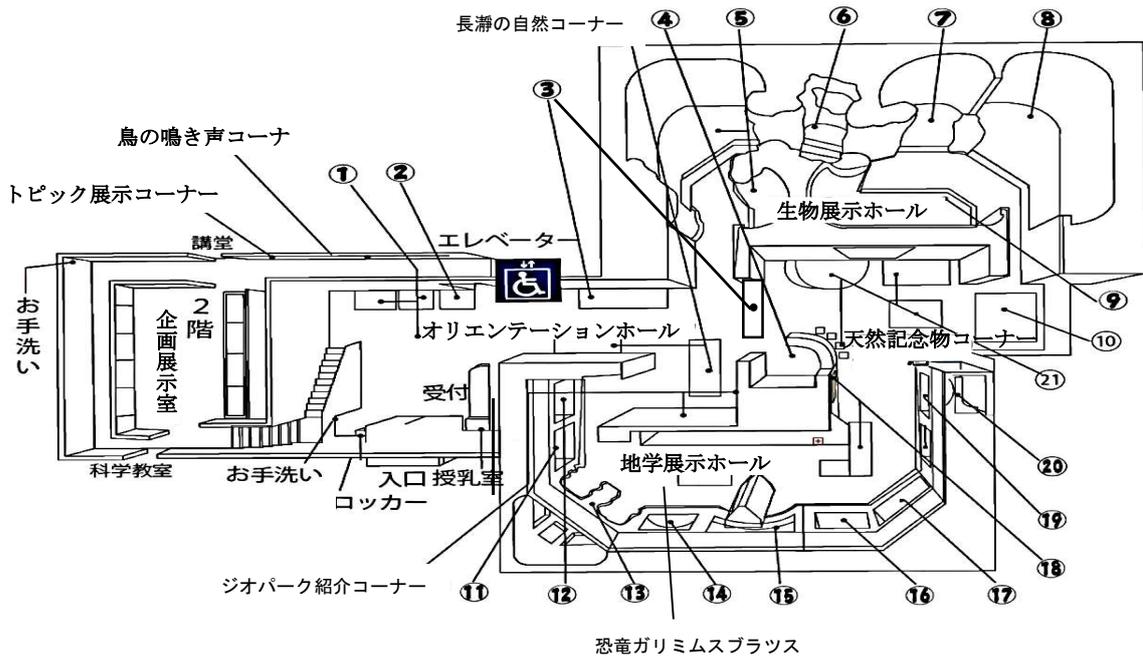
4 各部門及び各室の面積

- (1) 展示部門 1,160.0㎡ (38.4%)
 エントランスロビー(78㎡)、オリエンテーションホール(254㎡)、地学展示ホール(303㎡)、
 生物展示ホール(342㎡)、さわれるはく製コーナー(5㎡)、企画展示室(150㎡)
 ディスカバリーコーナー(22㎡)、植物コーナー(6㎡)
- (2) 教育部門 269.5㎡ (8.9%)
 講堂(150㎡)、準備室(43㎡)、科学教室(73.5㎡)、倉庫(3㎡)
- (3) 研究部門 202.5㎡ (6.7%)
 学芸員室(132㎡)、図書室(70.5㎡)
- (4) 技術部門 158.4㎡ (5.2%)
 化石処理室(27㎡)、石工室(27㎡)、植物標本製作室(27㎡)、動物標本製作室(27㎡)、
 工作室(23.6㎡)、くん蒸室及び同前室(16㎡)、暗室(10.8㎡)
- (5) 保管部門 529.9㎡ (17.5%)
 第1収蔵庫(149㎡)、第2収蔵庫及び同前室(125.7㎡)、第3収蔵庫(28.8㎡)、
 特別収蔵庫(58.4㎡)、資料搬入口(36㎡)、荷解室兼展示準備室(90㎡)、搬入通路(42㎡)
- (6) 管理部門 498.1㎡ (16.5%)
 館長室(47.3㎡)、事務室(63㎡)、会議室(54㎡)、警備員室兼清掃員室(20.8㎡)、倉庫(23.8㎡)、
 機械室(261.5㎡)、空調機械室(9.7㎡)、収蔵庫機械室(18㎡)
- (7) その他(共通) 203.89㎡ (6.7%)
 エレベーター(11㎡)、湯沸室(3㎡)、トイレ(4ヶ所・66.8㎡)、階段・廊下(123.09㎡)



IV 展示の概要

1 展示ホールの概要



2 展示テーマ (丸数字は上の図と対応している)

◇ オリエンテーションホール

- ・ (総合サイン) 過去から未来へ
埼玉3億年の旅 そして自然と人との共生
- ・ カルカロドンメガロドン①
- ・ 埼玉県シンボルコーナー②
- ・ 埼玉の多様な生きものコーナー③
(さわれるはく製コーナー含む)
- ・ 長瀬の自然コーナー
- ・ ディスカバリーコーナー④
- ・ 植物コーナー⑩

◇ 地学展示ホール

- ・ ジオパークインフォメーション(紹介)コーナー
長瀬の地質
秩父・長瀬の地質学史と博物館のあゆみ
長瀬の自然コーナー (岩畳紹介コーナー)
- ・ 大洋の時代
秩父中・古生層⑫
2億5000万年前の海⑪
秩父鉾山⑬
- ・ 大陸の時代
恐竜時代の化石⑭
恐竜ガリミムスプラッス
埼玉の変成岩⑮
- ・ 古秩父湾の時代
盆地と丘陵の化石⑯

・ 新時代の幕あけ

- メタセコイアの森⑰
- ゾウのきた道⑱
- アケボノゾウ骨格復元模型⑲
- ヒトの時代へ⑲

◇ 天然記念物コーナー

- チチブクジラ・オガノヒゲクジラ頭骨化石⑳
- パレオパラドキシア(全身化石・復元模型)㉑

◇ 生物展示ホール

- ・ シャクナゲ咲く初夏の原生林⑤
- ・ 石灰岩にきざまれた自然の造形、鍾乳洞⑥
- ・ 石灰岩地と鍾乳洞の生き物⑥
- ・ いろどられるブナ林と溪流⑦
- ・ 冬枯れの雑木林と池や沼⑧
- ・ みどりのこい夏のアカマツ林⑨

◇ 企画展示室(2階)

各ホールの展示とは別に、年3~4回テーマを設定し展示。

◇ トピック展示コーナー(2階)

自然に関するさまざまな話題を紹介する展示。

◇ 鳥の鳴き声コーナー(2階)

身近な鳥のはく製を展示し、その鳴き声を音声ガイドにより聞くことができる。

V 令和6年度事業計画（令和6年4月1日現在）

1 中期重点目標と取組

- (1) 計画的な資料整理の重点化
 - ア 館有資料所在点検実施計画の実施（年間：26,000点）
 - イ 収蔵スペースの確保。配架の見直し等による効率的な収蔵方法の検討と計画の具体化
- (2) 資料活用促進のための環境整備
 - ア 計画に基づくデータベース公開
 - イ 資料画像化の実施（1,000点）
 - ウ 常設展示更新計画の具体化
- (3) 主体的・協働的な学びの視点による学校との連携の拡張・深化
 - ア 計画に基づくコンテンツ（動画・貸出用標本等）の開発

2 管理運営事業

埼玉の自然及び自然と人々の暮らしとの関わりに関する資料の収集、整理保管、調査研究及び教育普及、展示事業等を推進するため、自然の博物館全般の円滑な管理運営に努める。

3 展示事業

展示の充実を図るとともに、県民の多様なニーズに応えるため、次の事業を実施する。

(1) 常設展示の充実、改修、補修と維持管理

ア 常設展示の充実

生物展示ホール及び岩畳紹介コーナーの展示物を定期的に交換し、タイムリーな季節の情報を発信するとともに、鳥コーナー、埼玉の生物コーナー、地学展示ホール、岩石・化石コーナーの展示物の更新を随時実施し、資料の劣化防止及び活用を図る。

イ 「体験ゾーン」の維持管理

ディスカバリーコーナー、植物コーナーでの展示物の更新を随時実施する。

ウ 常設展示メンテナンスのための臨時休館

比較的規模の大きな修繕、照明、展示物の交換などを、来館者の最も少ない時期に集中的・計画的に実施する。

期 間：令和7年1月28日（火）～31日（金）の予定

(2) 特別展の実施

ア 「秩父鉱山の面影～ニッチツが所蔵した希代の鉱物標本群～」

期 間：令和7年3月8日（土）～令和7年3月31日（月）※次年度へ継続

会 場：企画展示室

概 要：令和4年に石灰石採掘事業を停止した秩父鉱山（ニッチツ鉱山）の歴史をたどりながら、株式会社ニッチツ秩父事業所より寄贈を受けた100点余りの標本群を展示する。

イ 「自然の“国宝”展～天然記念物からみた埼玉の自然～」

（企画・監修：自然の博物館、運営：川の博物館）

期 間：令和6年7月6日（土）～令和6年9月1日（日）

会 場：川の博物館 第2展示室・リバーホール

概 要：県内には3件の国指定特別天然記念物や、カモシカなど地域を定めない特別天然記

念物のほか、多くの国・県指定の天然記念物が所在する。県内の国・県指定天然記念物を中心に、県が長年実施しているカモシカの生息調査の結果などを紹介し、埼玉県
の自然の特徴や、文化財保護制度についての理解を図る。

(3) 企画展示の実施

ア 「入間川流域の自然遺産調査から見えたこと」

期 間：令和6年4月1日（月）～令和6年6月16日（日）※前年度から継続

会 場：企画展示室

概 要：令和元年度から令和5年度にかけて実施した入間川流域の自然遺産調査の結果、新たに分かった生き物や地質のすがたを調査手法とあわせて紹介する。

イ 「外来生物 in 埼玉！」

期 間：令和6年6月29日（土）～令和6年10月14日（月・祝）

会 場：企画展示室

概 要：外来生物には、人の生活や従来の生態系に影響を及ぼすものがある一方で、身近な生物として親しまれてきたものもある。「外来生物とは何か？」という原点に立ち返り、外来生物の概要や各種の特徴、その扱い方を解説し、埼玉県内における外来生物を取り巻く状況を紹介する。

ウ 「長瀨自然遊覧」 ※名勝及び天然記念物「長瀨」指定100周年事業

期 間：令和6年10月26日（土）～令和7年2月24日（月・祝）

会 場：企画展示室

概 要：国の名称及び天然記念物に指定されてから100周年を迎える「長瀨」の魅力を改めて見つめる。結晶片岩が作り出す美しい景観と、特徴的な自然環境がはぐくむ多様な生物を紹介する。

(4) トピック展示の実施

ア 「空から見た入間川」

期 間：令和6年4月1日（月）～令和6年6月16日（日）※前年度から継続

会 場：2階廊下 トピック展示コーナー

概 要：博物館職員がヘリコプターから撮影した写真などを用いて、入間川本流周辺の地形や自然環境を紹介する。

イ 「生痕化石の世界」

期 間：令和6年6月18日（火）～令和6年10月6日（日）

会 場：2階廊下 トピック展示コーナー

概 要：県内や日本各地で見られる様々な生痕化石を紹介する。

ウ 「標本制作の技（動物編）」

期 間：令和6年10月8日（火）～令和7年2月2日（日）

会 場：2階廊下 トピック展示コーナー

概 要：はく製や骨格標本など様々な動物標本の種類とつくり方を紹介する。

エ 「埼玉の森をつくる木たち」

期 間：令和7年2月4日（火）～令和7年3月31日（月）※次年度へ継続

会 場：2階廊下 トピック展示コーナー

概 要：第75回全国植樹祭埼玉2025において、天皇・皇后両陛下がお手植えされる樹

種について、生態や県内の分布、利用などを紹介する。

(5) 共催展示の実施

ア 寄居町教育委員会との共催展 ※3か年計画の3年目。

「寄居町小学校巡回企画展 ～生き物の秘密を大発見！～」

期 間：Ⅰ期 6月頃、Ⅱ期 10月頃

会 場：Ⅰ期 寄居町立桜沢小学校、Ⅱ期 寄居町立男衾小学校

概 要：身近に暮らす動物たちを紹介し、環境について考える機会を提供する。

イ 熊谷市立熊谷図書館との共催

「第15回（通算第40回）自然科学展～埼玉の動物たち～」

期 間：令和6年7月20日（土）～令和6年8月29日（木）

会 場：熊谷市立熊谷図書館 3階美術展示室

概 要：哺乳類・鳥類の剥製を展示し、埼玉県を自然を紹介する。

4 教育普及事業

県民の自然に関する関心と理解を深めるため、体験学習等の機会を提供する。

- (1) 自然史講座 7回（7日）
- (2) 観察会 7回（7日）
- (3) ミュージアムトーク 12回（12日）
- (4) 各団体との共催・協力事業 13回
 - ア 名勝及び天然記念物「長瀨」指定100周年事業
主催：名勝及び天然記念物「長瀨」指定100周年事業実行委員会
 - ・ 名勝及び天然記念物「長瀨」指定100周年特別講演（全3回）
 - ・ 「ながとろ水まつり」における学習ブースの設置
 - ・ 記念式典
 - イ 天然記念物「古秩父湾堆積層及び海棲哺乳類化石群」古秩父湾作業部会関連事業
主催：秩父地区文化財保護協会古秩父湾作業部会
 - ・ 令和5年度古秩父湾 Instagram フォト&書コンテスト巡回展
 - ・ 令和6年度古秩父湾フォト&書コンテスト
 - ウ ジオパーク秩父関連事業
主催：秩父まるごとジオパーク推進協議会
 - ・ 事業提案及び運営協力
 - ・ ジオパーク秩父基本計画及び保全計画の作成協力
 - エ 長瀨観光協会関連事業
主催：長瀨町観光協会
 - ・ 青紅葉ライトアップ
 - ・ 「長瀨観光の日」記念イベント
 - ・ 紅葉ライトアップ
 - オ 大滝げんきプラザ活動支援
 - ・ 利用者向け自然学習展示への協力
 - カ 川の博物館活動支援

主催：埼玉県立川の博物館

- ・ 川の博物館県民の日イベント「自然の博物館がやってきた！」

(5) その他の事業

埼玉県民の日記念イベント

(6) 学校教育への学習支援

ア 講師派遣

要請に応じて地質分野、生物分野の出張授業や講演・講義、展示解説、自然体験プログラムを実施する。

イ 教育物品の貸出

ウ 貸出キットの貸出

エ 指導者対象の講座の開催

教員を対象に当館の学校教育における活用について説明する講座を実施する。

オ 各種研修会・教育研究団体の受入れ 2回（2日）

県立総合教育センター主催の教員研修会を積極的に受け入れる。

- ・ 中学校5年経験者研修（教科別研修・理科）（1日）
- ・ 中学校初任者研修（教科別研修・理科）（1日）

カ 学校教育支援プログラムの作成

キ 職場体験学習等の受入れ

- ・ 中学生職場体験実習（1校あたり3日間）
- ・ 障害者県庁職場実習（職場体験コース）（3日間）

(7) 社会教育関係団体等への支援

要請に応じて地質分野、生物分野の講師派遣、展示解説、指導・助言及び物品貸出を実施する。

(8) 博物館実習の受入れ

期 間：令和6年9月19～21日、24～27日（7日間）

(9) 自然の博物館友の会の活動への支援

野外観察会（5回）、交流会（1回）、県民の日イベントの支援（1回）

(10) ボランティアスタッフの受入れ

生涯学習や自己実現の場を提供するとともに、ボランティアを重要なパートナーとして博物館活動の質を高める。

ア 展示解説ボランティア

観覧者の要望により随時展示解説を行う。※年4回の研修会を行う。

イ 普及事業ボランティア

観察会・講座等の事業の補助を行う。

ウ 資料整理ボランティア

学芸職員とともに、標本化作業を行う。

エ 調査・資料収集補助ボランティア

学芸職員とともに、博物館の調査研究・資料収集を行う。

(11) 各種印刷物の刊行・配布

- ア 館報 第19号
- イ 研究報告 第19号
- ウ イベント展示案内ミュージアムカレンダー（イベント年間予定表）
- エ ニュースレター「漣」 第43号、第44号
- オ 特別展「秩父鉾山の面影～ニッチツが所蔵した希代の鉾物標本群～」展示解説書、ポスター及びリーフレット
- カ 川の博物館特別展「自然の“国宝”展～天然記念物からみた埼玉の自然～」展示解説書（執筆・編集）及びポスター・リーフレット（企画・構成）
- キ 企画展「外来生物 in 埼玉！」のポスター及びリーフレット
- ク 企画展「長漣自然遊覧」のポスター及びリーフレット
- ケ 展示解説リーフレット
- コ 自然史講座や観察会のテキスト、研究発表会の資料

(12) レファレンス

国および地方公共団体、一般市民等から動物・植物・地質分野及び環境分野の質問に回答する。

(13) 広報・広聴の推進

ア Web（ホームページ、X）での情報発信

特別展や企画展、各イベントに関する情報をはじめ、周辺で見られた季節の移り変わりの様子や出来事、関連施設や地域の情報などをホームページやXで情報を発信する。

イ メディア等への情報提供

5 資料収集整理事業

自然に関する資料を収集・整理・保管し、県民に供するため、次の事業を実施する。

(1) 資料の収集・整理

資料収集方針に基づき以下の資料を収集する。

また、資料整理のための集中作業期間（令和7年1月21日（火）～24日（金））を設定する

- ア 埼玉で採集された動物資料
- イ 埼玉で採集された植物資料
- ウ 埼玉で採集された鉾物、岩石及び化石資料
- エ アからウの資料に関係する、埼玉以外の地域で採集された動物・植物・鉾物・岩石・化石資料
- オ アからウの資料を理解する上で重要な資料
- カ 展示及び普及事業に資する資料

(2) 資料の登録

埼玉県立自然と川の博物館評価会議資料評価部会において、資料評価（真偽の鑑定、学問的評価、価格の査定等）を受けた資料を、登録資料台帳に登録する。ただし、軽易なものについては、館長が資料評価を行う。

(3) 資料管理

ア IPMに基づいた環境調査

館内39か所に捕虫器を仕掛け、毎月1回（月末）に回収、捕獲したものの中から資料に影響を及ぼす可能性のある昆虫を確認し、それに基づく環境管理を行う。

イ 収蔵資料点検

登録資料所在点検実施計画に基づき、登録資料の所在及び保存状態を確認する。

ウ 資料の燻蒸

収蔵庫の薬剤による燻蒸を行う。（臨時休館 令和6年9月6日（金）～13日（金））

(4) 資料の活用

ア 資料の特別利用

イ 資料の館外貸出

ウ 資料の展示活用

(5) 資料のデジタルアーカイブ化

ア 資料の画像化

植物標本及び鉱物標本を中心に、年間1000点を目標に実施する。

イ 画像台帳の更新

既存又は新規に撮影した資料の画像を画像台帳に登録する。

(6) インターネットを通じた資料の公開

ア 登録資料台帳の公開

(ア) 当館ホームページにおける登録資料台帳の公開

計画に基づき、公開情報の確認作業が終わった分野から順次登録資料台帳（文字情報）を公開していく（4か年計画の1年目）。

(イ) サイエンスミュージアムネットへの情報提供

全国の自然系博物館及び大学の収蔵標本情報を検索することができる「サイエンスミュージアムネット」（運用：国立科学博物館）に登録資料の情報を提供する。

(ウ) ジャパンサーチへの情報のリンク

書籍・公文書・文化財・美術・人文学・自然史/理工学など、様々な分野のコンテンツのメタデータを検索・閲覧・活用できるプラットフォーム「ジャパンサーチ」（運用：国立国会図書館）へデータの連携を行う。

イ 主要な資料の紹介

(ア) 当館ホームページにおける主要な資料の紹介

計画に基づき主要な資料について、画像・解説をつけて紹介する（4か年計画の1年目）。今年度は「古秩父湾の化石」・「埼玉県の外来生物」について公開する。

(イ) ジャパンサーチへの情報のリンク

(ア)を「ジャパンサーチ」（運用：国立国会図書館）へ連携する。

(7) 図書資料の収集・整理と活用

ア 図書資料の収集・整理

自然史分野に関係した図書資料を収集する。

イ 文献交換

当館の研究報告・資料目録・展示図録・ニュースレターと、国内外の博物館、大学研究所などの文献と交換を行う。

6 調査研究事業

館の総合研究テーマ「埼玉の自然史及び自然と人々との関わりに関する研究」に基づき、館の使命

である自然史資料の収集・保管及び調査研究による将来への継承を達成するための調査研究を行う。
研究の成果は、研究報告書等で公表し、展示・教育普及事業等で活用するように努める。

(1) 組織的に行う総合的調査研究

ア 自然遺産基礎調査「長瀬自然遺産調査」

5か年計画の1年目。

イ 特別天然記念物カモシカ保護対策事業

特別調査2か年計画の1年目。カモシカ保護管理の基礎資料として活用されるカモシカ保護地域における生息環境・生息状況・食害状況に関する現地調査を行う。

(2) 収蔵資料の価値付けに係る調査研究

ア 職員や専門家による収蔵資料の同定・再同定

イ 収蔵資料を用いた埼玉の自然史に関する研究

(3) 展示及び普及事業に係る調査研究

ア 次年度以降開催の特別展・企画展に関する調査研究

イ 観察会・講座で扱う地域やテーマに関する調査研究

(4) 職員が総合研究テーマに基づき個人テーマを設定して行う調査研究

(5) 上記以外の情報収集及び現地調査等

(6) 外部研究者の受入れと活用

施設や収蔵資料を外部研究者の利用に供することにより研究活動を支援するとともに、共同研究を行うなど埼玉の自然に関わる情報を集積する。

7 博物館評価会議

外部委員から構成される埼玉県立自然の博物館評価会議において、①自然の博物館が行う事業全般に係る評価、②自然の博物館事業の実施状況、③自然の博物館及び川の博物館における収集資料の真偽の鑑定、学問的評価、価格の査定等を行う。

委員氏名 (敬称略)	役 職
松原 聡	国立科学博物館名誉館員・名誉研究員
木場 英久	元桜美林大学教授
清水 晃	東京都立大学客員研究員・(一財)進化生物学研究所客員研究員
染川 香澄	ハンズ・オン プランニング代表
森内 優子	文化財・博物館課副課長
白井 亮大	(一財)長瀬町観光協会理事
井深 道子	長瀬町教育委員会教育長

VI 令和5年度事業報告

1 管理運営事業

埼玉の自然及び自然と人々の暮らしとの関わりに関する資料の収集、整理保管、調査研究及び教育普及、展示事業等を円滑に推進するため、自然の博物館全般の管理運営に努めた。

(1) 歳出決算

(単位：千円)

	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
管理運営費	13,905	19,069	21,590	17,884
資料収集整理事業費	587	661	1,036	1,056
展示・教育普及事業費	13,701	12,574	11,453	8,556
合 計	28,193	32,304	34,079	27,496

(2) 令和5年度観覧者状況

月	有料観覧者			無料観覧者				合計	開館 日数
	一般	学生・生徒	計	一般	学校等利用		計		
					校数	人数			
4	2,331	106	2,437	1,502	4	261	1,763	4,200	26
5	3,218	148	3,366	1,942	11	932	2,874	6,240	27
6	1,836	109	1,945	1,067	13	568	1,635	3,580	26
7	3,695	151	3,846	2,454	23	895	3,349	7,195	31
8	6,292	400	6,692	4,748	4	75	4,823	11,515	31
9	2,439	168	2,607	1,445	5	295	1,740	4,347	21
10	2,640	109	2,749	1,440	29	1,449	2,889	5,638	27
11	5,182	180	5,362	3,151	18	1,505	4,656	10,018	26
12	1,574	125	1,699	696	6	249	945	2,644	24
1	1,094	50	1,144	658	4	137	795	1,939	19
2	1,926	128	2,054	1,159	1	18	1,177	3,231	26
3	2,115	189	2,304	1,568	4	130	1,698	4,002	27
合計	34,342	1,863	36,205	21,830	122	6,514	28,344	64,549	311

(3) 施設の利用状況

ア 講堂

41 件

番号	申請者	利用日
1	埼玉栄中学校	R5. 4. 20
2	皆野町立皆野小学校	R5. 4. 26
3	秩父市立西小学校	R5. 4. 28
4	埼玉県立自然の博物館 友の会	R5. 5. 14
5	浦和大学	R5. 5. 14
6	狭山市立柏原中学校	R5. 5. 19
7	上尾市立尾山台小学校	R5. 5. 25
8	白百学園	R5. 6. 2
9	武南中学校	R5. 6. 13

10	さいたま市立大宮北高等学校	R5. 6. 15
11	西東京市立東小学校	R5. 6. 16
12	ボースカウト鴻巣第3団	R5. 6. 24
13	埼玉県立騎西特別支援学校	R5. 6. 29
14	埼玉県立所沢おおぞら特別支援学校	R5. 7. 18
15	合気道掌法会	R5. 7. 27
16	和光市立北原小学校	R5. 7. 28
17	ボースカウト桶川第1団	R5. 8. 10
18	ボースカウト久喜1団	R5. 8. 18
19	埼玉県立久喜北陽高等学校（理科部）	R5. 8. 28
20	埼玉県立熊谷特別支援学校	R5. 9. 20
21	縁ドーナツ	R5. 9. 30
22	深谷市立川本北小学校	R5. 10. 4
23	行田市立下忍小学校	R5. 10. 11
24	東村山市立第一中学校	R5. 10. 12
25	入間市立藤沢小学校	R5. 10. 13
26	秩父市立影森小学校	R5. 10. 17
27	本庄市立旭小学校	R5. 10. 17
28	秩父市立秩父第一小学校	R5. 10. 19
29	桃の木保育園	R5. 10. 20
30	桐光学園小学校	R5. 10. 25
31	深谷市立深谷西小学校	R5. 10. 31
32	東京学芸大学附属世田谷中学校	R5. 11. 2
33	社会福祉法人フラミンゴ	R5. 11. 2
34	深谷市立藤沢小学校	R5. 11. 9
35	まごやま保育園	R5. 11. 10
36	北部地区中学校校長会	R5. 11. 29
37	深谷市立川本南小学校	R6. 1. 12
38	深谷市立岡部小学校	R6. 1. 23
39	ガールスカウト東京都連盟134団	R6. 3. 10
40	たけのこ保育園	R6. 3. 19
41	放課後等デイサービス 縁キッズ	R6. 3. 29

イ 会議室

6件

番号	申請者	利用日
1	埼玉県立自然の博物館 友の会	R5. 4. 21
2	放課後等デイサービス サンワーク	R5. 9. 16
3	さいたま市立三橋中学校	R5. 10. 12
4	広尾地学研究会	R5. 11. 18
5	広尾地学研究会	R5. 11. 19
6	秩父地域振興センター	R6. 2. 14

2 展示事業

県民の多様なニーズに応えるため、展示を充実するとともに次の事業を実施した。

(1) 常設展示の充実、改修、補修と維持管理

ア 常設展示の充実

生物展示ホール及び岩畳紹介コーナーの展示物を定期的に交換し、資料の劣化を防ぐとともに、目新しさを演出した。また、地学展示ホールの修繕に伴い、一部照明をLED化した。

イ 最新の研究成果に基づく展示

令和5年6月、当館所蔵のメガロドン楯鱗化石を用いた研究成果が公開されたことを受け、令和5年7月1日から、オリエンテーションホールの「カルカロドン メガロドンコーナー」に楯鱗化石の展示ケースを設置した。

ウ 音声ガイドの再開

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、音声ガイドの利用を中止していたが、令和5年7月22日から再開した。

(2) 特別展の実施 * ()は副担当

ア 「埼玉シェルワールド ―貝からひも解く埼玉の自然―」

期 間：令和5年10月28日（土）～令和6年2月25日（日）

会 場：企画展示室

見学者：18,402名

担 当：山岡（小林）

概 要：秩父盆地をはじめ、埼玉県の各地で見つかる貝の化石。それらは、海なし県の埼玉にも、“失われた海”が存在したことを私たちに教えてくれる。本特別展では、太古の“埼玉の海”の様子や、貝殻に秘められた魅力を紹介した。



イ 「うんち・糞・フンII」 (企画・監修：自然の博物館、運営：川の博物館)

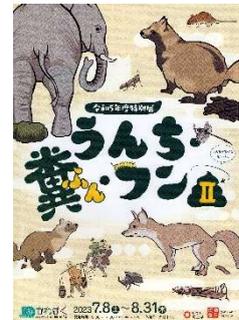
期 間：令和5年7月8日（土）～令和5年8月31日（木）

会 場：埼玉県立川の博物館 第2展示室及びリバーホール

見学者：20,037名

担 当：奥村（北川）

概 要：食べ物を摂取して生きている動物にとって排泄は避けて通れない。動物によりさまざまな糞があることに注目し、紹介した。また、糞と人との関わりを紹介し、身近な存在である糞の知見を広め、夏休み中の親子連れに好評を得た。



(3) 企画展の実施 * ()は副担当

ア 「自然の色と模様」

期 間：令和5年4月1日（土）～令和5年6月18日（日）

※令和5年3月11日（土）から継続

会 場：企画展示室

見学者：12,876名（前年度からの合計 16,294名）

担 当：木山（本多）

概 要：自然界で見られる色や模様の役割や多様性、私たちの生活に活かされている色や模様を数多くの実物資料で紹介した。



イ 「はねー飛ぶ羽・鳴く翅・すごいハネー」

期 間：令和5年7月1日（土）～令和5年10月15日（日）

会 場：企画展示室

見学者：26,411名

担 当：本多（半田）

概 要：「はね」がもつ様々な機能や、私たちの生活の中で役立てられている「はね」を、多様な標本資料や製品を用いて紹介した。



ウ 「入間川流域の自然遺産調査から見たこと」

期 間：令和6年3月9日（土）～令和6年3月31日（日） ※次年度に継続

会 場：企画展示室

見学者：3,291名

担 当：高橋（木山）

概 要：令和元年度から5年度にかけて実施した入間川流域の自然遺産調査の結果、新たに分かった生き物や地質のすがたを調査手法とあわせて紹介した。



(4) トピック展の実施 *（ ）は副担当

ア 「発色のしくみ」

期 間：令和5年4月1日（土）～令和5年6月18日（日）※令和5年2月28日から継続

会 場：2階廊下 トピック展示コーナー

見学者：12,876名（前年度からの合計 16,924名）

担 当：小林

概 要：光と色の関係性や仕組みを、簡単な解説で紹介した。

イ 「県の石ー埼玉県の岩石・鉱物・化石ー」

期 間：令和5年6月20日（火）～令和5年10月15日（日）

会 場：2階廊下 トピック展示コーナー

見学者：27,555名

担 当：高橋（小林）

概 要：埼玉県の石である「片岩」「スティルプノメレン」「パレオパラドキシア」についてパネルと実物標本で紹介した。

ウ 「埼玉のカエデ」

期 間：令和5年10月17日（火）～令和6年2月25日（日）

会 場：2階廊下 トピック展示コーナー

見学者：20,020名

担 当：木山（半田）

概 要：県内に分布する20種のカエデの特徴などを紹介した。

エ 「空から見た入間川」

期 間：令和6年2月27日（火）～令和6年3月31日（日） ※次年度に継続

会 場：2階廊下 トピック展示コーナー

見学者：4,098名

担 当：山岡（井上）

概 要：博物館職員がヘリコプターから撮影した写真を用いて、入間川本流周辺の地形や自然環境を紹介した。

(5) 共催展示の実施

ア 寄居町教育委員会との共催展 ※3か年計画の2年目。

「寄居町小学校巡回企画展 ～生き物の秘密を大発見！～」

期 間：Ⅰ期 令和5年 6月26日(月)～令和5年 7月 7日(金)

Ⅱ期 令和5年11月 6日(月)～令和5年11月17日(金)

会 場：Ⅰ期 寄居町立寄居小学校

Ⅱ期 寄居町立鉢形小学校

概 要：身近に暮らす動物たちを紹介し、環境について考える機会を提供した。

人 数：Ⅰ期 386人

Ⅱ期 403人

イ 三井不動産商業マネジメント（株）ステラタウンオペレーションセンターとの共催展

「埼玉はむかし海だった！」

期 間：令和5年11月1日(水)～令和5年11月26日(日) 10:00～21:00

人 数：6,809名

会 場：ステラタウン（さいたま市北区）

概 要：「カルカロドンメガロドン」生体復元模型の原寸大パネルやトリックアート、化石などの展示を通じて、新生代新第三紀に埼玉県付近に広がっていた海に生息する生きものを紹介した。

関連事業：①「埼玉はむかし海だったクイズdeラリー（初級編）」 4,729名

②「埼玉はむかし海だったクイズdeチャレンジ」 2,015名

③学芸員による展示解説 令和5年11月11日（土）11:00～
13:00～

14:00～ 計65名

④自然の博物館オリジナルグッズ販売 令和5年11月11日（土）10:30～14:30

3 教育普及事業

県民の自然に関する関心と理解を深めるため、以下のような体験学習等の機会を提供した。

全事業の参加者の合計 7,713 名

(1) 自然史講座

8回(8日)実施 参加者 221名

	日 時	タイトル	内 容	参加者数	担当者
1	6.17(土)	地衣類ストラップづくり	地衣類を観察し、樹脂で埋め込んで自分だけのストラップを作成。	26	木山 半田
2	7. 8(土)	講演会「県の石」	埼玉県 of 岩石・鉱物・化石について紹介。	69	小林 井上 高橋
3	7.22(土)	昆虫標本づくり	複雑な形をしている昆虫を詳しく調べるための昆虫の標本作りを体験。	25	半田 本多
4	9.16(土)	羽根のしおりづくり ※企画展関連事業	五感を使って羽根について学び、オリジナルの羽根のしおりを作成。	19	本多 高橋
5	11.25(土)	恐竜時代の化石発掘体験	恐竜時代の岩石から、当時の海に生きていた生物の化石を探す発掘体験。	16	山岡 北川
6	12. 2(土)	研究発表会	県民向けに、地質、動物などの分野から、職員や外部研究者の調査研究成果を発表。会場：入間市博物館 講座室	30	奥村 北川
7	2.10(土)	はく製を観察しよう	はく製を間近で観察・スケッチし、それぞれの動物の特徴を学ぶ。	2	本多 奥村
8	3.23(土)	巨大ザメ“メガロドン”研究最前線～県指定天然記念物のメガロドン化石からわかったこと～	かつて川本町から産出したメガロドン化石の発見秘話や、近年のメガロドン研究の動向を紹介。	34	山岡

(2) 観察会

7回(7日)実施 参加者 110名

	日 時	タイトル	内 容	参加者数	担当者
1	4.22(土)	春の岩畳観察会	長瀬駅を起点に、岩畳を歩きながら地形や春に見られる生き物などを観察。	20	半田 木山 丸山
2	5.27(土)	荒川で石の観察 ※地質の日関連事業	講義で岩石の分類や見分け方を学んだ後、荒川の河原で実習。	16	高橋 小林 加藤
3	9.30(土)	秋の岩畳観察会	長瀬駅を起点に、岩畳を歩きながら地形や秋に見られる生き物などを観察。	17	半田 本多 横田
4	10. 7(土)	カエデ観察会 in 三峯	冷温帯の典型的な落葉広葉樹林が広がる三峰山で、紅葉前のカエデを中心に、植物を観察。	2	木山 半田 丸山
5	12.16(土)	荒川に眠る“埼玉の海”を訪ねて ※特別展関連事業	県指定天然記念物「カルカロドン メガロドンの歯群化石」の産地を訪れ、地層や化石を観察。	15	山岡 井上 加藤
6	1.27(土)	冬鳥観察会	荒川を臨みながら、ハクチョウやカモ類など身近な冬鳥を観察。	22	本多 井上 丸山
7	2.24(土)	冬の岩畳観察会	長瀬駅を起点に、岩畳を歩きながら地形や冬の植物を観察。	18	小林 木山 横田

(3) ミュージアムトーク

12回(12日)実施 参加者240名

	期日	タイトル	参加者数	担当者
1	4.16(日)	昆虫の色と模様の多様性	15	半田
2	5.21(日)	足元の大地を知ろう!埼玉の地形と災害	13	山岡
3	6.4(日)	植物が生き抜くための色と模様	19	木山
4	7.2(日)	鳥、虫、なぜ飛ぶ!?	27	本多
5	8.20(日)	飛ぶためだけじゃない昆虫の翅	16	半田
6	9.24(日)	テクニシャン「はね」—飛ぶ以外の多様な機能—	23	本多
7	10.15(日)	羽が〇〇になる!生物模倣から見る「はね」	25	本多
8	11.12(日)	貝化石が物語る埼玉の海	18	山岡
9	12.24(日)	覗いてみよう!ふしぎな貝の世界	27	山岡
10	1.7(日)	多種多様な秩父鉾山の鉾物	18	小林
11	2.11(日)	埼玉県のカメ、知ってるかい?	23	山岡
12	3.17(日)	発見!!入間川の自然の魅力	16	高橋

(4) 各団体との共催・協力事業

12回(177日)実施 参加者691名(集計可能な事業のみ)

	期日	タイトル (主催)	内容	会場	参加者数
1	5.20(土) ~6.18(日)	青もみじライトアップ (長瀨町観光協会)	館庭(かえでの森)のライトアップを実施。	自然の博物館	—
2	6.10(土)	出張ものづくり体験「まが玉 づくり@自然の博物館」 (歴史と民俗の博物館)	滑石を紙やすりで磨き、まが玉ネックレスをつくる。	自然の博物館 講堂	41
3	4.25(火) ~5.28(日)	古秩父湾 Instagram フォトコンテスト巡回展 (秩父地区文化財保護協会 古秩父湾作業部会)	令和4年度に実施した古秩父湾 Instagram フォトコンテストの入賞作品を展示。 ※長瀨町中央公民館(6.1~11)、秩父市歴史文化伝承館(6.13~7.2)、横瀬町町民会館(7.5~20)、皆野総合センター(7.22~8.7)、おがの化石館(8.11~31)にて巡回展。	自然の博物館	—
4	6.8(木)	総合教育センター初任者研修 において博学連携ブース設置 (文化資源課)	普及用資料を総合教育センター出入口付近に設置し、教員の研修生に案内を行った。	総合教育 センター	—
5	7.16(日)	「長瀨観光の日」記念イベント (長瀨町観光協会主催)	長瀨町観光協会に協力、来館記念水晶プレゼントを実施。	自然の博物館	634
6	7.22(土) ~9.10(日)	埼玉県博物館連絡協議会 秩父地域館スタンプラリー (埼玉県博物館連絡協議会 秩父地域館)	埼玉博連秩父地域館10館を巡るスタンプラリー。	秩父地域館 10館	—

7	10. 5(木)	第 58 回全国史跡整備市町村協議会大会エクスカーション(第 58 回全国史跡整備市町村協議会大会実行委員会)	エクスカーション秩父コースの企画・運営協力を行い、岩畳・博物館・美の山展望台・法性寺・おがの化石館を案内した。	長瀬町 皆野町 秩父市 小鹿野町	41
8	10. 27(金) ～10. 29 (日)	第 13 回日本ジオパーク 全国大会 in 関東 (日本ジオパークネットワーク・日本ジオパーク委員会)	プレジオリターでの館内解説、秩父サテライト会場における現地スタッフを担当した。	自然の博物館 秩父宮記念 市民会館	—
9	11. 14(火)	川の博物館県民の日イベントにおいて自然の博物館ブース「自然の博物館がやってきた！」を設置 (川の博物館)	教育普及用剥製・化石の展示・触察体験、オリジナル塗り絵作成体験を実施した。	川の博物館	609
10	10. 28(土) ～6. 1. 14(日)	古秩父湾 Instagram フォト&書コンテスト (秩父地区文化財保護協会 古秩父湾作業部会)	天然記念物「古秩父湾」に関する写真及び書を SNS に投稿・応募するフォトコンテスト。	—	19
11	11. 10(金) ～11. 23(木)	紅葉ライトアップ (長瀬町観光協会)	長瀬町観光協会とタイアップして、館庭カエデや館内カルカロドン・メガロドン模型のライトアップを実施。	自然の博物館	—
12	12. 1(金)	総合教育センター初任者研修において博学連携ブース設置 (文化資源課)	普及用資料を総合教育センター出入口付近に設置し、教員の研修生に案内を行った。	総合教育 センター	—

(5) その他事業

1 回 (1 日) 実施 参加者 1,286 名

	期 日	タ イ ト ル	内 容	会 場	参加者数
1	11. 14(火)	県民の日 記念イベント	県民の日クイズ、来館記念水晶プレゼント、館外イベントブース・友の会のブース設置を実施。	自然の博物館	1,286

(6) 学校への学習支援

ア 講師派遣

理科や総合的な学習の時間、環境教育等において、出前授業の実施、講義・講演会の講師派遣により支援を行った。

37 件 人数 2,141 名

	日 時	学校名・学校関係団体名	学 年	人数	種 別	内 容
1	4. 20(木)	埼玉栄中学校	中 1	125	体験学習	虎岩の観察
2	4. 28(金)	秩父市立西小学校	小 4	51	体験学習	虎岩の観察
3	5. 16(火)	長瀬町立長瀬第二小学校	小 5	11	体験学習	岩畳の観察
4	5. 19(金)	狭山市立柏原中学校	中 2	94	体験学習	虎岩の観察
5	5. 23(火)	小鹿野町立小鹿野小学校	小 3	40	出前授業	身近な生き物について
6	5. 24(水)	秩父市立久那小学校	小 5/6	36	体験学習	岩畳の観察
7	5. 31(水)	長瀬町立長瀬第一小学校	小 4	43	体験学習	岩畳の観察
8	6. 6(火)	長瀬町立長瀬第一小学校	小 3	45	体験学習	岩畳の観察

9	6. 7(水)	横瀬町立横瀬小学校	小4	56	体験学習	水生昆虫の観察
10	6. 9(金)	鳩山町立今宿小学校	小5	45	体験学習	虎岩の観察
11	6. 13(火)	武南中学校	中1	57	体験学習	岩畳の観察
12	6. 15(木)	さいたま市立大宮北高等学校	高1 高2	18	体験学習	岩畳の観察 水生昆虫の観察
13	6. 22(木)	北本市立南小学校	小5	80	体験学習	虎岩の観察
14	7. 18(火)	埼玉県立熊谷西高等学校	高1	43	体験学習	岩畳と紅簾石片岩の観察 (SSH)
15	10. 3(火)	横瀬町立横瀬小学校	小6	67	体験学習	古秩父湾について
16	10. 13(金)	目白研心中学校	中1	68	体験学習	岩畳の観察
17	10. 15(日)	筑波大学附属視覚特別支援学校	高1	21	体験学習	虎岩の観察
18	10. 17(火)	本庄市立旭小学校	小3/4	91	体験学習	虎岩の観察
19	10. 19(木)	秩父市立秩父第一小学校	小5	30	体験学習	岩畳の観察
20	10. 20(木)	秩父市立吉田小学校	小6	32	体験学習	岩畳の観察
21	10. 25(水)	深谷市立桜ヶ丘小学校	小6	83	出前授業	土地のつくりと変化
22	10. 31(火)	深谷市立深谷西小学校	小4	82	体験学習	岩畳の観察
23	11. 2(木)	川越市立川越第一小学校	小6	116	出前授業	土地のつくりと変化
24	11. 7(火)	川越市立川越小学校	小6	90	出前授業	土地のつくりと変化
25	11. 9(木)	深谷市立榛沢小学校	小6	36	出前授業	土地のつくりと変化
26	11. 15(水)	長瀨町立長瀨第二小学校	小3/4	3	体験学習	岩畳の観察
27	11. 16(木)	秩父市立秩父第一小学校	小6	21	体験学習	地層と化石の観察
28	11. 20(月)	新座市立片山小学校	小6	94	出前授業	土地のつくりと変化
29	11. 22(水)	川口市立高等学校附属中学校	中1	86	体験学習	岩畳の観察
30	11. 29(水)	星野学園小学校	小6	64	出前授業	地質と岩石
31	12. 1(火)	鶴ヶ島市立藤小学校	小6	60	出前授業	土地のつくりと変化
32	12. 5(火)	入間市立藤沢北小学校	小6	112	出前授業	関東地方の化石や地質について
33	12. 6(水)	横瀬町立横瀬中学校	中2	60	出前授業	武甲山の自然について
34	12. 8(金)	自由学園 初等部	小5	33	体験学習	地層と化石の観察
35	12. 14(木)	自由学園 中等部	中3	55	体験学習	虎岩の観察
36	12. 19(火)	鴻巣市立鴻巣北小学校	小6	66	出前授業	土地のつくりと変化
37	1. 12(金)	深谷市立川本南小学校	小4	26	体験学習	岩畳の観察

イ 教育用物品の貸出

4件

	日時	学校名・学校関係団体名	目的	内容
1	4. 20(土)	秩父市立大田小学校	化石採集	ハンマー・タガネ
2	7. 25(木)	埼玉栄中学校	化石採集	ハンマー・タガネ・ゴーグル
3	8. 28(月)	埼玉県立久喜北陽高等学校	水生昆虫調査	水網・金網

4	10.14(土)	東京電機大学	化石採集	ハンマー・タガネ
---	----------	--------	------	----------

ウ 貸出キットの貸出

5件

	日 時	学校名・学校関係団体名	内 容
1	10.22(日)	熊谷市立新堀小学校	荒川の岩石同定セット
2	11. 2(木)	埼玉県立深谷商業高等学校	化石のレプリカ作成用の型のセット
3	11. 7(火)	川越市立川越小学校	火山灰と砂のセット
4	12.12(火)	鴻巣市立鴻巣北小学校	化石のレプリカ作成用の型のセット
5	3.19(火)	秩父市立荒川中学校	化石のレプリカ作成用の型のセット

エ 指導者対象講座の開催

1回(1日)実施 参加者5名

	日 時	タイトル	内 容	参加者数	担当者
1	10.13(金)	授業に活かせる 自然の博物館活用講座	博物館の利用方法の説明 学芸員による教材作成の解説 岩畳案内のポイント説明	5 内 オンライン1	横田 丸山 北川

オ 各種研修会・教育研究団体の受入れ

県立総合教育センター主催の教員研修会を掲載。

2回(2日)実施 参加者90名

	日 時	タイトル	内 容	参加者数	担当者
1	9.22(金)	中学校5年経験者研修 教科等コース(理科)	博物館を利用した理科教育 荒川の岩石について	33	横田 小林
2	1.11(木)	中学校初任者研修 教科別研修(理科)	博物館を利用した理科教育	57	横田

カ 学校教育支援プログラムの作成

学校教育支援プロジェクトチームを編成し、出張事業や体験学習支援の受入方法や体制の見直し、「学校教育支援プログラム」の骨子を作成した(3年計画の1年目)。

来館時の支援	講師派遣	物品・資料の貸出	映像コンテンツ
○岩畳や虎岩周辺の自然解説			
○概要説明 ○動画視聴 (岩畳・虎岩解説/概要説明)	○体験学習基本プログラム ・水生昆虫の観察 ・校庭等の植物の観察 ・地層と化石の観察 ○出前授業基本プログラム ・動物のからだのつくり ・植物のからだのつくり ・土地のつくりと変化 (火山灰の観察編) (堆積岩の観察編) ※その他の要望により対応	○教育用物品 (化石採集や生物観察に必要な物品の貸出) ○貸出キット ・昆虫標本裏表セット ・荒川の岩石同定セット ・堆積岩の同定セット ・火山灰セット ・化石のレプリカ作成セット ・動物のからだのつくりに関するセット(作成予定) ・植物のからだのつくりに関するセット(作成予定)	○概要説明動画 (作成予定) ○ショート動画 (作成予定) ○岩畳・虎岩解説動画

このうち、令和5年度は以下の項目を実施した。

- ① 出前事業基本プログラム 「土地のつくりと変化(堆積岩の観察編)」
- ② 貸出キット「堆積岩の同定セット」の更新
- ③ 岩畳・虎岩解説動画の編集

キ 職場体験学習等の受入れ

4回(12日)実施 参加者9名

	日時	タイトル	内容	参加者数	備考
1	7.12(水) ～7.14(金)	中学生職場体験	展示・資料整理 教育普及等博物館業務体験	3	皆野町立皆野中学校
2	7.24(月) ～7.26(水)	中学生職場体験	展示・資料整理 教育普及等博物館業務体験	1	伊奈学園中学校
3	12.5(火) ～12.7(木)	中学生職場体験	展示・資料整理 教育普及等博物館業務体験	4	長瀬町立長瀬中学校
4	1.30(火) ～2.1(木)	障害者県庁職場実習	広報用グッズづくりの実習	1	

ク その他

(ア) 大宮工業高校定時制の課程における「課題研究」への協力

- ・ 建築科有志班が制作する木材加工による「屋外設置用ハチの家」について、設計にあたっての監修を行い、成果品をカエデの森に設置した。
- ・ 機械科有志班が制作するレーザー加工機・および3Dプリンタを用いた「ほねほねパズル」について、データの提供および制作物の監修を行った。

(7) 社会教育関係団体等への支援

28件 人数826名

	日時	社会教育関係団体名	対象	参加者数	種別	内容	担当者
1	4.16(日)	(一社)群馬大学 工業会さいたま支部	一般	15	講義 講座等	「プラタモリに学ぶ地球科学の 魅力の伝え方—秩父・長瀬の自然 を題材として—」	井上
2	5.26(金)	日本野鳥の会 埼玉	子供 一般	32	講義 講座等	「カワウとアオサギの混合コロ ニーにおける対捕食者行動の違い」	本多
3	5.30(金)	長瀬町中央公民館	一般	15	体験 (岩畳)	ながとろ雑学カレッジ「名勝及 び天然記念物「長瀬」はなにが すごいのか。どのようにすごい のか。	高橋
4	6.8(木)	埼玉県町村会	一般	16	講義 講座等	埼玉の自然(長瀬を中心に)	井上
5	6.22(木)	埼玉県立川の博物館	一般	8	体験 (その他)	河原の石に関する研修	北川
6	7.25(火)	熊谷市立熊谷図書館	子供 一般	36	講義 講座等	埼玉県でみられる昆虫やその生 態について	半田
7	7.29(土)	草加歴史民俗資料館	一般	38	講義 講座等	企画展関連講座「近づいてみる 仏像	西口
8	8.3(木)	与野本町公民館	子供	21	体験 (その他)	夏休みこどもカレッジ「化石の レプリカを作ろう」	北川
9	8.5(土)	埼玉県立川の博物館	子供 一般	53	講義 講座等	特別展関連講座「大きいうん ち・小さいうんちのお話」	奥村
10	8.19(土)	富士見市立図書館 ふじみ野分館	子供	34	体験 (その他)	ぶんちゃんひろば8月「昆虫物 知り博士になろう」	半田
11	8.31(木)	大学共同利用機関法人 高エネルギー加速器研 究機構	一般	54	講義 講座等	長瀬の地質	小林

12	8.31(木)	千葉県教育庁 教育振興部文化財課	一般	49	講義 講座等	埼玉県における文化財保存活用 地域計画の作成状況及び計画推 進の取組について	北川
13	9.17(日)	日高市立図書館	一般	32	講義 講座等	文化講座「もっと知りたい！身近 な植物のこと」	木山
14	9.17(日)	千葉県立中央博物館	一般	85	講義 講座等	自然誌シンポジウム「チバニアン 期の哺乳類化石を探る」「チバニ アン期のゾウたち（長鼻類）」	北川
15	9.28(木)	東松山市 きらめき市民大学	一般	14	講義 講座等	仏教美術史・日本近世絵画史 「日本美術を楽しむ～絵巻物の 魅力を探る～」	西口
16	10. 1(日)	こもれびの森親子会 (サークル)	子供 一般	23	体験 (虎岩)	岩石の成因	山岡
17	10.28(土)	八幡ローターアクト クラブ	一般	36	講義 講座等	講演会「化石の日記念イベント 北九州と化石たち」	北川
18	11. 1(水)	久喜市高齢者大学	一般	36	体験 (岩畳)	長瀨の地質形成史	井上
19	11. 9(木)	東京都退職校長会 神奈川県支部	一般	19	体験 (岩畳)	岩畳の説明	井上
20	11.10(金)	上尾市原市北地区 民生委員児童委員協議	一般	18	講義 講座等	長瀨の自然（自然観察を含む）	井上
21	11.15(水)	横瀬町教育委員会	一般	19	展示解説	天然記念物 古秩父湾海棲哺乳類 化石について	北川
22	11.23(木)	秩父まるごと博物館	一般	32	講義 講座等	「秩父鉱山の鉱床学的特徴とニ ッチツ寄贈標本の紹介」	小林
23	11.24(金)	熊谷市中央公民館	一般	9	講義 講座等	「埼玉県の博物館めぐり講座」 埼玉県の地質について	井上
24	11.28(火)	観光庁観光戦略課	一般	30	体験 (岩畳)	観光行政初任者実地研修 岩畳 等秩父の自然の成り立ちについ て等	小林
25	12.15(金)	文化資源課	一般	9	展示解説	埼玉の自然	井上
26	2.14(水)	町村議員クラブ	一般	20	展示解説	埼玉の自然	井上
27	2.14(水)	秩父地域所長会議	一般	13	展示解説	埼玉の自然及び特別展「シェルワ ールド」について	山岡
28	3. 9(土)	公益社団法人 ひたちなか市生活・文 化・スポーツ公社	一般	60	講義 講座等	「一望千里 四角い村と四角い 田一発掘でわかる古代の国土開 発」	岩田

(8) 博物館実習の受入れ

学芸員資格取得のための必須科目である「博物館実習」を実施し、「埼玉県博物館等の博物館実習生受入要領」に基づき実習生を受入れる。

実施期間：9月20日(水)～9月29日(金)（7日間）※9.23(土)～25(月)は休み

参加者：6名（日本大学1名、筑波大学1名、東京農業大学2名、立教大学1名、北里大学1名）

実施内容：展示・資料整理・教育普及等博物館業務の実務実習

(9) 自然の博物館友の会の活動への支援

7回(8日)実施 参加者1,425名

	日時	タイトル	内容	参加者数	担当者
1	5.14(日)	岩畳散策	岩畳観察会に同行し、解説。	22	木山
2	6.11(日)	総合観察会	東松山市高坂葛袋の化石・地形観察に同行し、化石について解説。	18	北川
3	9.29(金) 9.30(土)	宿泊観察会	赤城山とぐんま昆虫の森での宿泊観察会に同行し、地形・岩石について解説。	18	高橋
4	10.22(日)	植物観察会	明ヶ指の植物観察会に同行し、解説。	21	木山
5	11.14(火)	県民の日イベント	ミニショップの運営と友の会の活動内容を紹介するブースを提供。	1,286	井上 木山
6	11.19(日)	地質観察会	日高市高麗本郷での地質観察会に同行し、解説。	23	小林
7	2.4(日)	交流会	自然の博物館で、動物・植物・地質の各分野の話題提供後の情報交換での指導助言。	38	井上 木山

(10) ボランティアスタッフの受入れ

生涯学習や自己実現の場を提供し、博物館活動の質を高めることを目的とする重要なパートナーとして、受け入れた。

ア ボランティアスタッフ

18名 延べ活動日数202日

- ① 展示解説ボランティア 10名 観覧者に対する展示解説。
- ② 普及事業ボランティア 15名 観察会・講座等の事業の補助。
- ③ 資料整理ボランティア 13名 標本化作業の補助。
- ④ 調査・資料収集補助ボランティア 10名 博物館の調査研究・資料収集の補助。

※ ①～④の重複者あり

イ 展示解説ボランティア研修

4回(4日)実施 参加者29名

展示解説ボランティアの力量を高めるための、特別展、トピック展に関する研修会及び意見交換会を実施した。

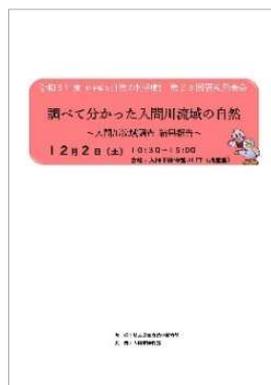
- ① 第1回 5月11日(木) 9名
- ② 第2回 7月13日(木) 6名
- ③ 第3回 11月9日(木) 6名
- ④ 第4回 3月14日(木) 8名

(11) 各種印刷物の刊行・配布

特別展や企画展、各イベント等あるいは博物館の活動を広く周知するため、下の表1のとおりポスター、リーフレット、チラシ、図録を作製・配布した。



ミュージアムカレンダー
(イベント案内)



研究発表会要旨集



ニュースレター「静」41号

表 1

(表中の「主な配布先」の記号については、表 2 を参照)

印刷物名	部数	主な配布先
埼玉県立自然の博物館報 第 18 号	電子データ送付	B
埼玉県立自然の博物館研究報告 第 18 号	600 部	BFG
イベント展示案内 (ミュージアムカレンダー) ①前期・②後期 (年間イベント案内)	①100,000 部 ② 30,000 部	ABCDEF
自然の博物館ニュースレター「漣」 第 41 号～第 42 号	900 部	BFG
企画展「はねー飛ぶはねー鳴く翅ーすごいハネー」 ①ポスター ②チラシ ③リーフレット	① 400 部 ② 15,000 部 ③ 5,000 部	BCDEFG
特別展「埼玉シェルワールドー貝からひも解く埼玉の自然ー」 ①ポスター ②チラシ ③解説書 (図録)	① 350 部 ② 15,000 部 ③ 1,300 部	ABCDEFG ABCDEFG BFG
川の博物館特別展「うんち・糞・フンⅡ」 ①ポスター ②チラシ ③解説書 ※製作・配布は川の博物館	① 450 部 ② 20,000 部 ③ 600 部	ABCDEFG
企画展「入間川流域の自然遺産調査から見たこと」 ①ポスター ②チラシ ③ワークシート	① 350 部 ② 15,000 部 ③ 3,000 部	BCDEFG

表 2

A	県内小・中学校及び市町村教育委員会
B	県庁内関係各課、博物館、地域振興センター、図書館等県の施設
C	長瀬町観光協会、長瀬町内各事業所 (店舗、観光施設等)
D	県北地域の道の駅、宿泊施設、観光施設等
E	秩父鉄道、西武鉄道の各駅及び関連施設
F	市町村文化会館、公民館、図書館等の公共施設
G	県外博物館

そのほか、自然史講座や観察会のテキスト、展示解説リーフレット、自然の博物館利用ガイダンステキストなどを必要に応じて作成・印刷し、配布した。

(12) レファレンス

月	動物分野	植物分野	地質分野	その他	合計
令和 5 年 4 月	6	13	15	3	37
令和 5 年 5 月	13	4	21	1	39
令和 5 年 6 月	13	4	14	0	31
令和 5 年 7 月	25	4	19	0	48
令和 5 年 8 月	13	11	23	0	47
令和 5 年 9 月	13	4	8	0	25
令和 5 年 10 月	15	6	16	2	39
令和 5 年 11 月	5	5	24	1	35
令和 5 年 12 月	5	2	19	0	26
令和 6 年 1 月	0	1	12	0	13
令和 6 年 2 月	10	4	17	0	31
令和 6 年 3 月	4	1	7	0	12
合計	122	59	195	7	383

(13) 広報・広聴の推進

ア Web（ホームページ、X）での情報発信とアクセス数

特別展や企画展、各イベントに関する情報をはじめ、周辺で見られた季節の移り変わりの様子や出来事、関連施設や地域の情報などをホームページやXで情報を発信した。

	ホームページ		X	
	アクセス数	更新回数	ポスト数	インプレッション数※
令和5年4月	162,724	26	19	70,976
令和5年5月	106,503	27	18	67,750
令和5年6月	40,381	24	22	96,964
令和5年7月	44,395	27	30	97,232
令和5年8月	53,405	11	45	177,366
令和5年9月	115,134	23	19	95,345
令和5年10月	86,936	24	30	590,490
令和5年11月	81,362	38	39	79,663
令和5年12月	80,039	21	16	44,801
令和6年1月	61,492	14	24	73,266
令和6年2月	82,578	34	26	61,367
令和6年3月	92,414	20	23	51,315
合計	1,007,363	289	311	1,506,535

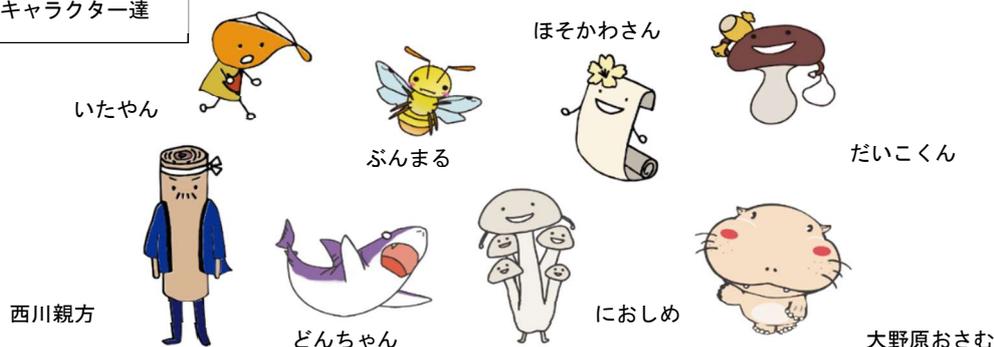
※ インプレッションとは、ポストが表示された回数を表す。

イ メディア等への情報提供

特別展・企画展や各イベント情報及び当館概要の提供先

種類	主な提供先
新聞 テレビ ラジオ	埼玉県政記者クラブ（埼玉新聞、朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、産経新聞、日本経済新聞、東京新聞、日刊工業新聞、共同通信、時事通信、NHK、テレビ埼玉、日本テレビ、TBS、フジテレビ、テレビ朝日）、埼玉中央よみうり、埼玉北よみうり、埼玉東よみうり、FM茶笛、ちちぶエフエム
web	○県関連サイト 生涯学習ステーション、みどりのポータルサイト ○その他各事業者運営サイト るるぶ、まっふる、ナビタイムジャパン、イベントバンク、いこーよ、じゃらん、ウォーカープラス
広報紙 機関紙 情報誌等	○地方自治体関係 彩の国だより、埼玉教育 ○その他各事業者 秩父鉄道広報紙「パレット」、なびまる

当館のマスコットキャラクター達



4 資料収集整理事業

自然に関する資料を収集・整理・保管し、県民に供するため、次の事業を実施した。

また、自然と川の博物館管理規則により自然の博物館が行うこととされている川の博物館（指定管理者：乃村工藝社）の資料収集に関する業務を実施した。

(1) 資料の収集・整理

本年度に受け入れた資料は以下のとおり。

ア 寄贈資料

合計 3,759 点

番号	分野	資 料 名	点数	寄贈日
1	動物	埼玉県産魚類標本	303 点	R6. 3. 7
2	動物	カミツキガメ標本	1 点	R6. 3. 7
3	動物	カモ類本剥製	4 点	R6. 3. 5
4	動物	ライオン本剥製	2 点	R6. 3. 7
5	動物	マダラミズカメムシ	2 点	R6. 3. 7
6	動物	クビボソコガシラミズムシ	6 点	R6. 2. 20
7	動物	セスジガムシ	1 点	R6. 2. 20
8	動物	トダセスジゲンゴロウ、ホソセスジゲンゴロウ	6 点	R6. 2. 20
9	動物	カメムシ目標本	2,169 点	R6. 3. 25
10	動物	無翅昆虫プレパラート標本	1,191 点	R6. 3. 25
11	植物	ホンゴウソウさく葉標本	2 点	R6. 2. 21
12	植物	さく様標本（エゾデンダ等）	6 点	R6. 2. 21
13	地質	川本町産出 カルカロドン メガロドンの歯群化石	65 点	R6. 3. 25
14	地質	クリオケラティテス的一种	1 点	R6. 3. 19

イ 提供資料

合計 423 点

地質 253 件、植物 110 件、動物 60 件

※ 「提供資料」とは、同定や標本化等が必要となる未整理の状態で受け入れたもの。これらの資料は標本化していないものも含む。

ウ 川の博物館資料の収集

購入 1 件 1 点(10 冊組)

(2) 資料の登録

ア 令和 5 年度新規登録資料

総計 20,222 点

(ア) 地質分野

岩石(Ro)	1 点	脊椎動物化石(VeF)	1 点
鉱物(Mi)	6 点	無脊椎動物化石(MoF)	119 点
		合計	127 点

(イ) 動物分野

魚類(Pi)	303 点	哺乳類(Ma)	2 点
爬虫類(Re)	1 点	昆虫 有翅昆虫(In)	17,346 点
鳥類(Av)	4 点	昆虫 無翅昆虫(Ap)	1,191 点
		合計	18,847 点

(ウ) 植物分野

種子植物 被子植物(As)	1,152 点	シダ植物(Pt)	96 点
		合計	1,248 点

イ 登録資料点数（令和5年度新規登録資料含む）

総計 197,877 点

(7) 地質分野

岩石 (Ro)	1,436 点	化石	藻類化石 (AlF)	113 点
岩石・鉱物スライド (RMS)	688 点		脊椎動物化石 (VeF)	825 点
鉱物 (Mi)	5,644 点		甲殻類化石 (CrF)	327 点
地質構造標本 (Gs)	40 点		昆虫化石 (InF)	237 点
第四紀火山砕屑物 (Qu)	42 点		無脊椎動物化石 (MoF)	5,019 点
その他地質資料 (OG)	649 点		その他の無脊椎動物化石 (OIF)	792 点
ボーリング資料 (Bo)	68 点		化石スライド (AFS、PFS、OFS)	1,665 点
化石 植物化石 (PlF)	2,430 点		生痕化石 (TrF)	106 点
			菌類化石 (FuF)	2 点
		合計		20,083 点

(イ) 動物分野

脊椎動物 哺乳類 (Ma)	603 点	節足動物 クモ類 (Ar)	19 点
鳥類 (Av)	911 点	ダニ類 (Ac)	27 点
爬虫類 (Re)	156 点	その他の蛛形類 (Ad)	2 点
両生類 (Am)	203 点	甲殻類 (Cr)	111 点
魚類・円口類 (Pi)	567 点	多足類 (My)	22 点
昆虫類 有翅昆虫類 (In)	48,059 点	無脊椎動物 軟体動物 (Mo)	1,965 点
無翅昆虫類 (Ap)	39,417 点	その他の無脊椎動物 (Iv)	26 点
		合計	92,088 点

(ウ) 植物分野

種子植物 被子植物 (As)	62,854 点	菌類 (Fu)	3,005 点
裸子植物 (Gy)	458 点	地衣類 (Li)	8,592 点
シダ植物 (Pt)	7,289 点	藻類 (Al)	44 点
コケ植物 (Br)	3,161 点	植物スライド (PlS)	303 点
		合計	85,706 点

(3) 資料管理

ア IPM に基づいた環境調査

館内 39 か所に捕虫器を仕掛け、毎月 1 回（月末）に回収、捕獲したものの中から資料に影響を及ぼす可能性のある昆虫を確認し、それに基づく環境管理を行なった。

館内外 12 か所にデータロガーを設置し、毎月 1 回（月末）、1 か月分の温湿度データを確認し、それに基づく環境調査を行った。

イ 収蔵資料点検

館有資料所在点検実施計画に基づき、本年度に確認した館有資料は以下のとおり。

52 回 合計 26,032 点

分野	照合点数	実施回数
動物	18,118 点	34 回

植 物	6,765 点	7 回
地 質	1,149 点	11 回

(4) 資料の活用

ア 資料の特別利用

件数 29 件 点数 1,708 点

イ 資料の館外貸出

件数 9 件 点数 227 点

ウ 資料の展示活用

(ア) 館内での活用	合計 7,663 点
(内訳) 常設展	1,405 点
特別展「埼玉シェルワールド 一貝からひも解く埼玉の自然」	717 点
企画展「はねー飛ぶ羽・鳴く翅・すごいハネー」	377 点
企画展「入間川流域の自然遺産調査から見えたこと」	5,164 点
(イ) 館外での活用	合計 197 点
(内訳) 特別展「うんち・糞・フンⅡ」	197 点
(企画：自然の博物館、実施・運営：川の博物館)	

(5) 資料のデジタルアーカイブ化

ア 資料の画像化

植物標本 548 点

イ 画像台帳の作成

分野ごとに管理していた画像データを、画像台帳で一元管理するための枠組みを作成した。

(6) インターネットを通じての資料の公開

ア 当館ホームページでの公開

資料の一部を画像として当館ホームページに公開している。

(ア) ベストコレクション 10 点

(イ) 分野別資料 67 点 (動物 25 点、植物 22 点、地質 20 点)

イ 生物多様性標本情報データベースへの情報提供 提供件数 (累積) 108,700 件

全国の自然系博物館及び大学の収蔵標本情報を検索することができる「サイエンスミュージアムネット」に登録資料の情報を提供している。

(7) 図書資料の収集・整理と活用

資料収集活動の一環として、自然史分野に関係した図書資料を収集。多くは当館刊行物との交換によるもの。

ア 図書資料の収集・整理

123 冊 (文献交換によるもの含む)

イ 文献交換状況

当館の研究報告・資料目録・展示図録・ニュースレターと、国内外の博物館、大学研究所などの文献と交換を行っている。

(交換先) 国内 298 か所、国外 20 か所

(8) 自然と川の博物館資料評価委員名簿（令和4・5年度）

○ 専門委員

（敬称略）

氏名	役職
石田 健	元東京大学准教授
山口 征矢	東京海洋大学名誉教授
松原 聰	国立科学博物館名誉館員・名誉研究員
富田 幸光	国立科学博物館名誉研究員
木場 英久	元桜美林大学教授
清水 晃	東京都立大学客員研究員／（財）進化生物学研究所客員研究員

※ その他、行政委員として、会計管理課長、財務課長、文化資源課長

5 調査研究事業

(1) 組織的に行う総合研究

ア 自然遺産基礎調査「入間川流域自然遺産調査」

令和元年度からの5か年計画の5年目で、補足調査を行うとともに調査報告書を刊行した。

※ (3)-ア-(イ)参照

イ 特別天然記念物カモシカ保護対策事業（通常調査）

カモシカ保護地域における生息環境・生息状況・食害状況に関する調査を行い、カモシカ保護管理の基礎資料を得た。通常調査6か年中の6年目。

(期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日)

(2) 職員が総合研究テーマに基づき個人テーマを設定して行う調査研究

- 岩田 明広 荒川下流域の地形と中世の土地利用について
- 井上 素子 県内の災害史研究（天明泥流を中心に）
- 小林 まさ代 秩父鉾山産鉾物の記録と国内スカルン鉾床における位置づけの検討
- 奥村 みほ子 埼玉県内における哺乳類の生息状況の解明
- 北川 博道 埼玉県産大型脊椎動物化石の分類学的研究
- 木山 加奈子 埼玉県におけるヤビツギンランの分布
- 半田 宏伸 ① 埼玉県産カマバチ類の種構成と不明種の調査
② 埼玉県内におけるキマダラズアカクモバチの調査
- 山岡 勇太 山中白亜系産二枚貝化石の記載および古生態学的研究
- 本多 里奈 ① コロニー性鳥類の生息状況調査
② 博物館周辺の鳥類生息状況
- 高橋 美織 秩父鉾山と秩父トータル岩体について

(3) 研究成果の公表

ア 当館が発行した刊行物

(ア) 埼玉県立自然の博物館研究報告 第18号（ゴシック体：当館職員）

原著論文2件、短報4件、資料4件を掲載。

- 原著論文
 - ・ 埼玉県狭山市・入間市の地下における上総層群の層序 加藤 進 1-16
 - ・ 荒川中流域におけるコハクチョウの越冬状況及び採食行動 渡辺朝一・眞下廣義 17-24
- 短報
 - ・ 埼玉県におけるエゾデングダ *Polypodium sibiricum* Sipliv.（ウラボシ科）の再発見 三村昌史・藤井良造・木山加奈子 25-30
 - ・ 埼玉県新産のホンゴウソウ *Sciaphila nana*（ホンゴウソウ科） 岩浪 創 31-34
 - ・ 埼玉県長瀬町で観察されたアオバズクの給餌内容と換羽パターン 本多里奈・半田宏伸 35-38
 - ・ 埼玉県さいたま市におけるカミツキガメ孵化幼体の記録 内田大貴・阿部眞大・勢井慎太郎 39-42
- 資料
 - ・ 飯能市精明地区における水田地帯周辺の植物相と絶滅危惧植物の生育環境

小澤正幸・長谷川裕子・岩浪 創・近藤 昇・近藤京子 43-50

- ・ 標本・写真記録に基づく埼玉県産魚類の記録
高野季樹・川上 瞭・来間太郎・古旗峻一・阿部眞大・村橋卓也・内田大貴 51-64
- ・ 彩の森人間公園の魚類 荒尾一樹 65-68
- ・ 埼玉県初記録のハチ目6種の記録 半田宏伸 69-72

(イ) 埼玉県立自然の博物館自然遺産調査Ⅱ 入間川流域基礎調査報告書

I 調査の経緯と概要

Ⅱ 入間川流域の自然環境

- 1 調査対象地域の水系 井上素子 6- 8
- 2 調査対象地域の地形 井上素子 9-13
- 3 入間川流域の地質概要 小林まさ代・高橋美織 14-17
- 4 入間川流域の植生概要 須田大樹 18-21

Ⅲ 調査結果

- 1 入間川中流域の下部更新統仏子層より産出した貝化石 山岡勇太 24-29
- 2 入間川流域の維管束植物 須田大樹・木山加奈子 30-51
- 3 入間川流域で確認された蘚苔類 木山加奈子 52-55
- 4 入間川源流域～上流域で確認された地衣類 木山加奈子 56-59
- 5 マレーズトラップ及び捕虫網によって収集された昆虫類
(コウチュウ目, ハエ目, カメムシ目, ハチ目) 半田宏伸 60-95
- 6 入間川流域における哺乳類の生息調査 奥村みほ子 96-109
- 7 令和元年東日本台風(台風19号)による埼玉県川越市平塚新田付近の水害の被害状況
井上素子 110-126

(ウ) ニュースレター「瀨」

○ 41号

- ・ 令和5年度企画展「はねー飛ぶ羽・鳴く翅・すごいハネー」展示内容と見どころの紹介
本多 里奈 2-3
- ・ 令和4年度企画展「自然の色と模様」 木山加奈子 4-5
- ・ トピック展「県の石ー埼玉県の岩石・鉱物・化石ー」 高橋 美織 6
- ・ 絶滅した巨大ザメ“メガロドン”はゆっくりと泳ぐサメだった
ー埼玉県深谷市(旧川本町)から発見された1000万年前の鱗化石から判明ー
山岡 勇太 7
- ・ コロナの後の博物館
展示解説ボランティアの再開 木山加奈子 8
博物館クイズ・カードをリニューアル 丸山 要 8
- ・ 展示のお知らせ(10月～3月) 小林まさ代 8

○ 42号

- ・ 令和5年度特別展「埼玉シェルワールドー貝からひも解く埼玉の自然ー」
山岡 勇太 2-3
- ・ 入間川流域自然遺産基礎調査を実施しました 木山加奈子 4-5
- ・ 季節のたより ゆく鳥くる鳥 本多 里奈 6-7
- ・ 学校支援事業紹介 横田 淳 8

・ 展示のお知らせ（4月～9月） 本多 里奈 8

(エ) 令和5年度研究発表会資料集（通算第28回）

入間市博物館講座室で行った研究発表会（研究発表4件）の資料をまとめたもの。

○ 研究発表

「有馬山周辺で確認された植物、特に地衣類」	木山 加奈子
「仏子層の貝化石から分かること」	山岡 勇太
「マレーズトラップで得た昆虫類」	半田 宏伸
「痕跡などで確認できた哺乳類の生息」	奥村 みほ子

(オ) 特別展「埼玉シェルワールド ―貝からひも解く埼玉の自然―」展示解説書

山岡 勇太

(カ) 特別展「うんち・糞・フンII」展示解説書

奥村 みほ子

イ 個人論報文・発表

学芸職員による9件の論報文の公表、学会等での発表を行った。

○ 岩田 明広

- ・ 続々・戦国の忍びを追う―忍び戦術の具体像と補遺―
- ・ 埼玉県立史跡の博物館紀要(17):80-93.

○ 北川 博道

- ・ パレオパラドキシア瑞浪釜戸標本の産状と骨格. 瑞浪市化石博物館研究報告 50 (3) :29-42.
- ・ パレオパラドキシア瑞浪釜戸標本復元画の制作. 瑞浪市化石博物館研究報告 50 (3) :109-111.
- ・ チバニアン期に生きていたゾウ. 令和5年特別展図録よみがえるチバニアン期の古生物 千葉県立中央博物館:26-38.

(国際学会)

- ・ New specimen of paleoparadoxiid (Mammalia, Desmostylia) from the Shukunohora Formation of the Mizunami Group in Kamado-cho, Mizunami City, Gifu, Japan. The 2nd Asian Palaeontological Congress. (2023) (連名)

○ 山岡 勇太

- ・ Tessellated calcified cartilage and placoid scales of the Neogene megatooth shark, *Otodus megalodon* (Lamniformes: Otodontidae), offer new insights into its biology and the evolution of regional endothermy and gigantism in the otodontid clade. *Historical Biology* (2023) (連名)
- ・ 高知県室戸市岩戸に分布する新第三系の微化石層序と貝化石群集: 四国における掛川動物群の最古記録とその古生物地理学的意義. *地質学雑誌* (2024): 印刷中.

○ 本多里奈

- ・ カワウとサギ類の関係. *BIRDER*7月号 (2023). pp.30-31. 文一総合出版, 東京.
- ・ 鳥研究の裏ばなし #11 研究はかっこよくない! ~泥臭くて楽しいウの野外調査~. pp.73 *BIRDER*7月号 (2023). 文一総合出版, 東京.

(4) 外部研究者

ア 外部研究者の受入れ

令和5年度に受け入れた外部研究者は以下の27名。

	氏名	テーマ	分野	担当者
1	石井克彦	・ガロアムシに関する研究 ・埼玉県における生き物の方言について ・埼玉県に侵入した外来生物の研究 ・ナガレタゴガエルの分布調査 ・ムササビの分布調査	動物	半田
2	岩田泰幸	埼玉県における水生昆虫類の生態及び分布に係わる研究 (継続)	動物	半田
3	碓井 徹	埼玉県内におけるムネアカハラビロカマキリの分布拡大の様相	動物	半田
4	内田大貴	埼玉県の淡水魚類 -埼玉県立自然の博物館収蔵標本から見た過去の分布-	動物	半田
5	大堀里奈	埼玉県におけるげっ歯類の生息について	動物	半田
6	奥田恭介	埼玉県におけるカメムシ目昆虫相の研究	動物	半田
7	金子陽子	花粉分析による古環境の復元	地質	小林
8	小林健助	花粉分析による古環境の復元	地質	小林
9	佐藤 健	埼玉県内における緩歩動物門クマムシの生息に関する分布状況の研究	動物	半田
10	鈴木幸枝	尾瀬ヶ原のボーリングコアによる古植生の研究	地質	小林
11	須田大樹	埼玉県内の植物相・植物分布に関する研究	植物	木山
12	清家一馬	放射年代を用いた地域的な埋没隆起の復元・古生物相の研究	地質	小林
13	関根一昭	埼玉県秩父地域に分布する秩父帯、特に角礫岩および沈み込みに伴う変形構造に関する地質学的研究	地質	小林
14	曾根崎猛史	埼玉県におけるハチ類の生息状況	動物	半田
15	平 誠	・陸水プランクトンおよび大型鯉脚類の分布や生態 ・埼玉県内の植物分布や植物の生活史	植物	木山
16	鐵 慎太郎	埼玉県と岡山県の維管束植物相の比較を目的とした植物相調査	植物	木山
17	中村修美	カマアシムシ類の分類と生物地理	動物	半田
18	楡井 尊	関東内陸部における第四系の古環境と古気候変動に関する研究	地質	小林
19	野澤雅美	埼玉県のカメムシ目昆虫に関する研究 主にカスミカメムシ類・キジラミ類を中心として	動物	半田
20	長谷河初男	埼玉県秩父地域に分布する秩父帯、特に角礫岩及びプレート沈み込みに伴う変形構造に関する地質学的研究	地質	小林
21	古旗峻一	文献および標本資料から明らかにする埼玉県の魚類相	動物	半田
22	逸見紀章	展示や教材として使用するための標本の作製	動物	半田
23	本間岳史	・板碑の石材およびその採掘地等に関する研究 ・長瀨の地質および研究史等に関する研究 ・ジオパークに関する研究	地質	小林
24	牧野彰吾	埼玉県内の維管束植物の動向について	植物	木山
25	町田和彦	哺乳類の生態及び分類の研究 -特にコウモリ類を対象に-	動物	半田
26	三上忠仁	埼玉県絶滅危惧種調査、外来植物調査、加須市浮野調査、羽生市ムジナモ自生地調査他	植物	木山
27	吉田考造	地衣の分類学的研究とフローリスチックな研究	植物	木山

イ 外部研究者による研究実績の公表 (2024年2月末現在)

○ 岩田 泰幸

藤野敬郎・岩田泰幸・内田大貴, 2023. 東京都新宿御苑の近傍で拾得されたウラナミアカシジミ. 寄せ蛾記, (190): 12-13.

古旗峻一・内田大貴・村橋卓也・岩田泰幸, 2023. 日高市及び飯能市で採集された水生コウチュウ目・カメムシ目の記録. 寄せ蛾記, (189): 24-31.

古旗峻一・内田大貴・岩田泰幸, 2023. 鳩山町で確認された水生コウチュウ目・カメムシ目の記録. 寄せ蛾記, (188): 51-53.

Hayashi Masakazu and Yasuyuki Iwata, (2023). A new species of the genus *Hydraena* (Coleoptera: Hydraenidae) from Honshu, Japan, with notes on *Hydraena riparia* species group. *Japanese Journal of Systematic Entomology*, 29(1): 96-104.

林 成多・相馬理央・岩田泰幸, 2024. 日本産ダルマガムシ科のDNAバーコード領域. ホシザキグリーン財団研究報告, (27): (印刷中: 2024年3月発行予定).

林 成多・相馬理央・岩田泰幸, 2024. 島根県産水生食肉亜目のDNAバーコード領域. ホシザキグリーン財団研究報告, (27): (印刷中: 2024年3月発行予定).

井上惺太郎・井上聡太・岩田泰幸, 2023. 埼玉県秩父郡横瀬町におけるコオイムシ属 *Appasus* の記録. 寄せ蛾記, (190): 34.

岩田泰幸, 2023. 講座 (前編) 文化財虫菌害防除薬剤の選定に際しての注意点. 文化財の虫菌害, (85): 22-25.

岩田泰幸, 2023. 講座 (後編) 文化財虫菌害防除薬剤の選定に際しての注意点. 文化財の虫菌害, (86): 14-17.

岩田泰幸・藤嶋浩義・宮尾哲人・内田大貴・奥田恭介, 2023. 2022年に埼玉県東松山市で見つかったタガメについて. 寄せ蛾記, (188): 41-42.

岩田泰幸・児嶋 翼, 2023. 2019年~2021年に埼玉県所沢市三ヶ島の湿地で得られた水生甲虫. トトロのふるさと基金自然環境調査報告, 17: 36-45.

Iwata Yasuyuki, Takashi Kurihara, Atsushi Kato, Reiya Watanabe, Shun Yamasaki, Ryuto Uchiyama, Takuto Itakura, Kazutaka Togashi and Kei Hirasawa, 2024. Seasonal occurrence and habitat of *Helophorus auriculatus* Sharp, 1884, in a riparian area in Tochigi Prefecture, Japan. *Japanese Journal of Entomology New series*, 27(1): (now printing)

岩田泰幸・内田大貴・岩田朋文, 2024. 新潟県信濃川水系におけるケスジドロムシの生息状況と環境選好について. ホシザキグリーン財団研究報告, (27): (印刷中: 2024年3月発行予定).

岩田泰幸・内田大貴・碓井 徹, 2023. オキナワイトアメンボ *Hydrometra okinawana* Drake, 1951 (イトアメンボ科 *Hydrometridae*) の北限および秋田県初記録. 伊豆沼・内沼研究, 17: 23-28.

加藤敦史・佐々木英世・岩田泰幸, 2024. 埼玉県におけるトダセシジゲンゴロウの追加記録とその生息環境. ホシザキグリーン財団研究報告, (27): (印刷中: 2024年3月発行予定).

田悟敏弘・岩田朋文・岩田泰幸, 2023. 埼玉県飯能市におけるクナシリシジミガムシの記録. 寄せ蛾記, (190): 64-65.

高橋さおり・岩田泰幸, 2023. 東京都庭園美術館における虫菌害の防除対策とIPMの取り組み事例. 文化財の虫菌害, (85): 10-17.

高野季樹・内田大貴・内山龍人・岩田朋文・藤嶋浩義・岩田泰幸, 2024. 埼玉県内に生息する県絶滅危惧種クビソコガシラミズムシの現状. ホシザキグリーン財団研究報告, (27): (印刷中: 2024年3月発行予定).

富樫和孝・岩田泰幸・栗原 隆, 2023. 栃木県でのキボシケシゲンゴロウとキボシツブゲンゴロウの再発見. さやばねニューシリーズ, (49): 35-36.

富樫和孝・高野雄一・岩田泰幸, 2023. マルヒラタガムシを標高920m (長野県) で採集. ニッチェ・ライフ, 11: 39-40.

辻 雄介・岩田泰幸, 2023. 山口県におけるヤマトビイロトビケラの初記録. 豊田ホテルの里ミュージアム研究報告書, (15): 130.

佐藤日向・工藤浩平・岩田泰幸 (2023) 埼玉県北本市におけるセスジガムシの再発見. 寄せ蛾記, (190): 1-2.

内田大貴・阿部眞大・富樫和孝・山崎 駿・北野 忠・碓井 徹・岩田泰幸, 2023. 山梨県におけるイトアメンボおよびヒメイトアメンボの晩秋の観察例. *Rostria*, (68): 96-101.

内田大貴・岩田泰幸, 2023. オヨギカタビロアメンボ (カメムシ目, カタビロアメンボ科) の北限および新潟県初記録. 昆虫ニューシリーズ, 26 (4): 203-204.

内田大貴・岩田泰幸・相蘇 巧, 2024. サンゴカメムシの分布北限記録の更新を伴う伊豆大島からの発見. 昆虫ニューシリーズ, 27 (1): (印刷中: 2024年3月発行予定).

内田大貴・岩田泰幸・富樫和孝, 2023. 長野県におけるマダラコガシラミズムシの追加記録. ニッチェ・ライフ, 11: 37-38.

山崎 駿・岩田朋文・内田大貴・岩田泰幸, 2023. 新潟県におけるオキナワイトアメンボの記録.

月刊むし, (636) : 48-49.

【口頭発表 (講師)】

岩田泰幸, 2023. 昆虫展示施設における標本管理について～文化財 IPM の視点～. (令和 5 年度昆虫施設連絡協議会 : 講師).

岩田泰幸, 2023. 防除処理に関する基礎知識. (第 12 回文化財 IPM コーディネータ資格取得のための講習会と試験 : 講師).

岩田泰幸, 2024. ①昆虫に関する基礎知識と文化財に被害する昆虫類の特徴、②文化財の生物被害の調査と予防対策、③殺虫・殺菌処理等の駆除対策. (第 45 回文化財の虫菌害防除作業に関する講習会と作業主任者能力認定試験 : 講師).

岩田泰幸, 2024. 図書館資料のクリーニングとカビ対策について. (神奈川県立川崎図書館の資料移転に係わる資料保存研修 : 講師).

○ 碓井 徹

碓井 徹, 2023. 今年度も埼玉県希少種調査にご協力ください. 寄せ蛾記, (189) : 63.

碓井 徹, 2023. 埼玉県におけるツヤハダゴマダラカミキリの採集記録. 寄せ蛾記, (190) : 21.

碓井 徹・長畑 直和・曾根崎 猛史, 2023. ツヤハダゴマダラカミキリ, 埼玉県内での今夏の分布調査. 寄せ蛾記, (190) : 42-47.

碓井 徹, 2023. 忘れ去られるゴイシシジミ. 寄せ蛾記, (190) : 50-52.

碓井 徹, 2023. 小川町古寺鍾乳洞の動物調査. 寄せ蛾記, (190) : 70.

碓井 徹, 2023. 古寺鍾乳洞の動物調査. いろいろ生きもの通信, (11) : 1-2.

岩田泰幸・内田大貴・碓井 徹, 2023. オキナワイトアメンボ *Hydrometra okinawana* Drake, 1951 (イトアメンボ科 *Hydrometridae*) の北限および秋田県初記録. 伊豆沼・内沼研究報告, 17 : 23-28.

内田大貴・阿部眞大・富樫和孝・山崎 駿・北野 忠・碓井 徹・岩田泰幸, 2023. 山梨県におけるイトアメンボおよびヒメイトアメンボの晩秋の観察例. *Rostria*, 68 : 96-101.

碓井 徹, 2023. 『エコ散歩ポケットブック』分担執筆. いろいろ生きものネット埼玉 刊 (分担執筆)

碓井 徹, 2023. 上尾市自然学習館 指導員研修 講師 (4 回)

碓井 徹, 2023. 10 月. 市史講座『日本人とトンボ』講演. 幸手市郷土資料館.

碓井 徹, 2024. 2 月. 『東日本のメガネサナエ』講演 関東地方トンボ懇談会 (東京)

○ 内田 大貴

加納光樹・内田大貴, 2023. カラドンコ・ヨコシマドンコ. 茨城の外来種データブック 2023 年版. pp.60-61. 茨城県県民生活環境部環境政策課・茨城県生物多様性センター, 水戸.

内田 大貴・金子 誠也・碓井 星二・大森 健策・石塚 隆寛・山崎 和哉・風呂田 利夫・鈴木 盛智・半沢 裕子・及川 ひろみ・横井 謙一・加納 光樹, 2024. 利根川下流域湖沼群の抽水植物帯における魚類相とその空間的変動特性. 魚類学雑誌, 早期公開.

内田大貴・高野季樹・吉田祐一・大原庄, 2023. 都立葛西臨海公園の水生コウチュウ目およびカメムシ目目録. 観音崎自然博物館研究報告たたらはま, 27 : 1-4.

高野季樹・内田大貴・伊藤美信・永井祐紀・荒尾一樹, 2023. 千葉県習志野市谷津干潟公園で確認された水生コウチュウ目・カメムシ目. 観音崎自然博物館研究報告たたらはま, 27 : 13-18.

山川宇宙・内田大貴・外山太一郎・津田吉晃, 2023. 福島県いわき市の河川で採集された暖水性の水生動物 5 種. 水生動物, 2023 : AA2023-14-

内田 大貴, 2023. 戸田市におけるエサキナガレカタビロアメンボ (カタビロアメンボ科) の生息環境に関する知見. 寄せ蛾記, 188 : 35-36.

内田 大貴・菅谷 和希・石川 あき子・大野 博則, 2023. 狭山市で採集されたマダラコガシラミズムシの記録. 寄せ蛾記, 188 : 10-11.

内田大貴・高野季樹・吉田祐一・大原庄史, 2023. 都立葛西臨海公園鳥類園で確認された水生半翅目 3 種の追加記録. 月刊むし, 628 : 52-53.

内田大貴・山崎和哉・古旗峻一・外山太一郎, 2023. 茨城県におけるケブカコバネケシミズカメムシの初記録, 628 : 55-56.

内田大貴・2023. 板橋区におけるハイイロチビミズムシの記録. うすばしろ, 70 : 7-8

内田大貴・2023. 八王子市におけるマルヒメツヤドROMシの記録. うすばしろ, 70 : 18

高野 季樹・内田 大貴・山崎 駿・相蘇 巧・芦田 星, 2023. 千葉県における国外外来種トガリアメンボ(アメンボ科)の侵入状況. 房総の昆虫, 72 : 56-60

内田 大貴・山崎 駿, 2023. 横芝光町でエサキアメンボを採集. 房総の昆虫, 72 : 83-84

内田大貴・菅谷和希, 2023. 千葉県における水生カメムシ目 2 種の記録. 月刊むし, 632 : 52-53

山川宇宙・碧木健人・内田大貴, 2023. 東京都におけるエサキナガレカタビロアメンボの初記録. 月刊むし, 633 : 44-45

鎗田めぐ・山川宇宙・内田大貴, 2023. 広島県東広島市で採集されたナベブタムシ. ニッチェ・ライフ, 11 : 82

内田大貴・勢井慎太郎・2023. 八王子における水生コウチュウ目 2 種の追加記録. うすばしろ, 71 : 1-2

- 高野季樹・内田大貴, 2023. 荒川水系の河川におけるキタミズカメムシの記録. うすばしろ・71: 18-19.
- 内田大貴・岩田泰幸, 2023. オヨギカタビロアメンボ (カメムシ目・カタビロアメンボ科) の北限および新潟県初記録. 昆虫 (ニューシリーズ), 26(4): 203-204.
- 高野季樹・内田大貴, 2023. 東京都江東区夢の島熱帯植物館のビオトープで確認された水生カメムシ目. 観音崎自然博物館研究報告たたらはま, 27: 23-24.
- 内田大貴・高野季樹, 2023. 神奈川県におけるキタミズカメムシの初記録. 観音崎自然博物館研究報告たたらはま, 27: 21-22.
- 山崎駿・岩田朋文・内田大貴・岩田泰幸, 2024. 新潟県におけるオキナワイトアメンボの記録. 月刊むし, 636: 48-49.
- 内田大貴・阿部眞大・富樫和孝・山崎駿・北野忠・碓井徹・岩田泰幸・2023. 山梨県におけるイトアメンボおよびヒメイトアメンボの晩秋の観察例. *Rostria*, 68: 96-101.
- 内田大貴・高野季樹, 第10回全国タナゴサミット in 手賀沼. ポスター発表.
- 内田大貴・高野季樹, 東京湾沿岸部湿地の真水生昆虫の謎に迫る~各種の生息状況からみた考察~. NPO 法人 野生生物調査協会 第18回シンポジウム. 口頭発表.
- 奥田 恭介
 Kiyosuke Okuda & Zhuo Chen, 2023. A new synonym of a species of *Stachytropha* Stål, 1871, a genus of Asian Stenopodainae (Hemiptera; Heteroptera; Reduviidae). *Biodiversity Data Journal*, (11): e102977.
- 野澤雅美・奥田恭介, 2023. 埼玉県から新たに記録されるカメムシ類 (3). 寄せ蛾記, (188): 30-33.
- 岩田 泰幸, 藤嶋 浩義, 宮尾 哲人, 内田 大貴, 奥田 恭介, 2023. 2022年に埼玉県東松山市から見つかったタガメについて. 寄せ蛾記, (188): 41-42.
- 奥田恭介, 2023. 埼玉県におけるアヤヘリハネナガウンカの追加記録. 寄せ蛾記, (190): 20.
- 奥田恭介・石川 忠, 2023. 東京都におけるアシボソトビロサシガメの記録. *Rostria* (68): 31-32.
- 望月政樹・奥田恭介・伴 光哲, 2023. 本州初記録となるアツバケブカカモドキサシガメを採集. *Rostria*, (68): 113-114.
- 佐藤 健
 佐藤 健, 2023. ●新連載●未来の昆虫学者たち (1) 埼玉県立川越高等学校 生物部、昆虫と自然 2024年1月、34-35、(株) ニューサイエンス社
- 須田大樹
 須田大樹, 2024. 入間川流域の植生概要. 埼玉県立自然の博物館自然遺産調査Ⅱ 入間川流域総合調査報告書, 26-29.
- 須田大樹・木山加奈子, 2024. 入間川流域の維管束植物. 埼玉県立自然の博物館自然遺産調査Ⅱ 入間川流域総合調査報告書, 30-51.
- 須田大樹・木村和喜夫・島井誠司, 2024. 令和5年度植物群落調査. NPO 法人埼玉県絶滅危惧植物種調査団編, 埼玉県レッドデータブック植物編改訂調査業務報告書. (3月印刷予定)
- 清家一馬
 浦本豪一郎・中村璃子・朝山航大・壹岐一也・清家一馬・多田井修・濱田洋平・谷川 亘・廣瀬文洋, 2024(in press). 土佐硯の石材評価: 鉱物単体分離解析 (MLA) による鉱物・粒度特性の検討. 堆積学研究.
- 安井万奈・田中陵二・清家一馬・井上裕貴・岩田晃一・高場智博・安永雅, 2023. 長崎県五島列島 (下五島エリア) ジオパーク奈留島における石英の日本式双晶 (双子水晶) 産出地の保全、公開に向けての取り組み. 日本地球惑星科学連合大会予稿集(Web).
- 曾根崎 猛史
 塘久夫・曾根崎猛史, 2023. 宮代町トラスト保全5号地で見られる昆虫 (その4・追加と訂正). 寄せ蛾記, (188): 54-60
- 曾根崎猛史, 2023. 「令和5年度 県内希少野生動植物種」動物種選定調査 (ハチ目報告書). 埼玉県みどり自然課, (非公開)
- 能見正明・曾根崎猛史, 2023. 平成23年度夏季現地調査会動物調査報告 (群馬県沼田市玉原高原周辺 昆虫・鳥リスト). 埼玉生物, (63): 18-19.
- 中川大樹・曾根崎猛史・中村達郎, 2023. 秋季現地調査会動物調査報告 (昆虫類) 埼玉県入間市緑の森博物館周辺 昆虫調査リスト. 埼玉生物, (63): 17
- 碓井徹・長畑直和・曾根崎猛史, 2023. ツヤハダゴマダラカミキリ, 埼玉県内での今夏の分布調査. 寄せ蛾記, (190): 42-51
- 平 誠
 平 誠, 2023. 令和5年度「県内希少野生動植物種」植物種選定調査報告書. NPO 法人埼玉県絶滅危惧植物種調査団. (共著)
- 平 誠, 2023. 小鹿野町馬上的カタクリ群生地におけるカタクリの消滅. さいたま植物通信 54号. 2-3.

- 平 誠, 2023. 埼玉県レッドデータブック 2024 植物編. 埼玉県. (共著: 出版予定)
- 鐵 慎太郎
鐵 慎太郎, 2023. ドイツ自然観察記 4—Boge Gorge の森林—. しぜんしくらしき, (124): 7-8.
鐵 慎太郎, 2023. 冬の公園での観察会. しぜんしくらしき, (124): 13.
鐵 慎太郎, 2023. 岡山県の島でツメレンゲ(ベンケイソウ科)を記録. しぜんしくらしき, (125): 4.
- 鐵 慎太郎, 2023. 春のミズアオイ自生地. しぜんしくらしき, (125): 6.
鐵 慎太郎, 2023. かつての島, 鶴形山にのぼる. しぜんしくらしき, (125): 7.
鐵 慎太郎, 2023. 種松山西部の自然. しぜんしくらしき, (125): 9.
鐵 慎太郎, 2023. 三平山(真庭市蒜山上徳山)の温帯性植物. しぜんしくらしき, (125): 9.
鐵 慎太郎, 2024. ドイツ自然観察記 5 —石こうの丘の洞窟と植物—. しぜんしくらしき, (124): 7-8.
- 中村修美
Nakamura, O., 2023. Review of Japanese species of the genus *Paracerella* (Protura, Acerentomidae). *Edaphologia*, (113): 95-106.
茨城土壌動物研究会編(中村修美, 分担執筆), 2024. 茨城でみられる土中の虫たち. 278 pp. ミュージアムパーク茨城県自然博物館. (2024年3月発行予定)
- 野澤 雅美
野澤雅美, 2023. 埼玉県から新たに記録されるカメムシ類(3). 寄せ蛾記, (188): 30-33. 埼玉昆虫談話会. (共著)
野澤雅美, 2023. 植物にもあるアルビノ. みんなの自然史 97: 1. 埼玉県立自然の博物館友の会.
野澤雅美, 2023. ビロウドサシガメ(カメムシ目サシガメ科)最近の記録. 寄せ蛾記, (190): 11. 埼玉昆虫談話会. (共著)
野澤雅美, 2023. 埼玉県におけるアミガサハゴロモに酷似した外来種の記録. チュウゴクアミガサハゴロモ(カメムシ目). 寄せ蛾記, (190): 66-69. (共著)
野澤雅美, 2023. マルテングカスミカメ原記載以来の再発見. *Rostria*, (68): 121-122. 日本半翅類学会.
- 古旗 峻一
古旗峻一, 所 史隆, 根本隆夫, 加納光樹, 2023. 霞ヶ浦チャネルキャットフィッシュ侵入防止グリッドの設置が魚類・エビ類の漁獲に及ぼす影響. 水生動物, AA2023-19.
古旗峻一, 内田大貴, 岩田泰幸, 2023. 鳩山町で確認された水生コウチュウ目・カメムシ目の記録. 寄せ蛾記, (188): 51-53.
内田大貴, 山崎和哉, 古旗峻一, 外山太一郎, 2023. 茨城県におけるケブカコバネケシミズカメムシの初記録. 月刊むし. (628): 55-56.
古旗峻一, 内田大貴, 村橋卓也, 岩田泰幸, 2023. 日高市及び飯能市で採集された水生コウチュウ目・カメムシ目. 寄せ蛾記, (189): 24-31.
古旗峻一, 鎗田めぐ, 内田大貴, 古田翔斗, 森口宏明, 山川宇宙, 2023. 青梅市の平溝川源流部で確認したガロアムシ属の一種. うすばしろ, (70): 12.
古旗峻一, 内田大貴, 2023. 東京都におけるマダラミズカメムシの初記録. 月刊むし. (630): 60-61.
高野季樹, 川上瞭, 来間太郎, 古旗峻一, 安部眞大, 村橋卓也, 内田大貴, 2024. 標本・写真記録に基づく埼玉県産魚類の記録. 埼玉県立自然の博物館研究報告. (18): 51-64.
古旗峻一, 内田大貴, 2024. 稲城市の真水生昆虫へ生息種からみた自然環境の特徴. 稲城市文化財紀要. (印刷中)
古旗峻一, 谷口倫太郎, 内田大貴, 久保田潤一, 村橋卓也, 高野季樹, SNS から発見された群馬県太田市におけるヤリタナゴの国内外来集団(ポスター発表) 2023年魚類学会年会.
古旗峻一, 内田大貴, 東京都稲城市の真水生昆虫類の状況(ポスター発表) 第1回神奈川県希少淡水魚の未来を考える会.
古旗峻一, 谷口倫太郎, 内田大貴, 久保田潤一, 高野季樹, 村橋卓也, SNS で発見!? 群馬県におけるヤリタナゴの国内外来集団(口頭発表) 第77回魚類自然史研究会.
高野季樹, 古旗峻一, 内田大貴, 埼玉県利根川水系におけるシマヨシノボリの標本に基づく記録(ポスター発表) 霞ヶ浦流域研究 2024 (予定).
- 本間 岳史
本間岳史, 2023. ちちぶ総会紹介シリーズ③ 日本地質学発祥の地・秩父(3) 宮沢賢治の秩父地質巡検. 地団研機関誌 そくほう, (797), 2.
本間岳史, 2023. 日本列島と三波川結晶片岩—緑色片岩(青石)の特徴・分布・形成—. 月刊『地図中心』, (607), 6-9, 日本地図センター.
本間岳史, 2023. 地層は語る—海から陸への大地のドラマ—(口頭発表). 令和5年度大里地区公民館連合会・大里地区社会教育委員連絡協議会記念講演会(於: 寄居町中央公民館).
本間岳史, 2023. 画家・福沢一郎と『秩父山塊』(ちちぶエフエム出演).

- 本間岳史, 2023. 令和4年度の野外研の活動. 野外調査研究, (7): 1, 野外調査研究会
- 本間岳史, 2023. 野外見学会「中央構造線に沿った戦国山城の傑作 杉山城跡」の報告. 野外調査研究, (7): 7-8, 野外調査研究会.
- 本間岳史, 2023. 本の紹介『大陸はどのように動くのか』. 野外調査研究, (7): 155, 野外調査研究会.
- 本間岳史, 2023. 秩父青石の利用と宮沢賢治・保阪嘉内が歌に詠んだ岩石・鉱物 (口頭発表). 日本地質学会関東支部主催オンライン講演会「県の石 埼玉県」(於: 自然の博物館).
- 本間岳史, 2023. 7 秩父青石の採掘地を訪ねる. 地学団体研究会第77回総会(ちちぶ)講演要旨集, 22-27.
- 本間岳史, 2023. “日本地質学発祥の地” 秩父を訪れた地質学の先達たち (口頭発表). NPO 法人秩父まるごと博物館 ジオパーク講座 (於: 秩父市歴史文化伝承館).
- 本間岳史, 2023. 秩父青石の採掘地を訪ねる (ポスター発表). 地学団体研究会第77回総会(ちちぶ). (於: 秩父市歴史文化伝承館).
- 本間岳史, 2023. フィールドシンポ B-1「秩父青石の採掘地を訪ねる」. 地団研埼玉支部報, (258), 9-11.
- 本間岳史, 2023. 普及講演を担当して. 地団研埼玉支部報, (258), 21-22.
- 本間岳史, 2024. 令和6年能登半島地震について (口頭発表), 埼玉県立自然の博物館友の会 令和5年度交流会 (於: 自然の博物館).
- 牧野 彰吾
 - 牧野 彰吾, 2024. 令和5年度「県内希少野生動植物種」植物種選定調査業務報告書. 埼玉県環境科学国際センター. (NPO 法人埼玉県絶滅危惧植物種調査団調査員として共著).
 - 牧野 彰吾, 2024. 令和5年度埼玉県レッドデータブック植物編改訂調査業務報告書. 埼玉県環境科学国際センター (NPO 法人埼玉県絶滅危惧植物種調査団調査員として共著).
 - 三上 忠仁
 - 三上忠仁, 2023. ムジナモ自生地調査報告—植物相と花暦—.
 - 三上忠仁, 2024. さいたま市内の植物に関する追加報告 (1)新分布報告 (2)生育確認報告 (3)大宮国際中等教育学校の維管束植物報告 (4)大宮国際中等教育学校の蘚苔類報告. さいたま市紀要. 2024年3月出版予定.

(5) 国・地方公共団体・関連団体等への指導・助言

氏名	委員名等	依頼・委嘱	期間
田沼康雄	秩父まるごとジオパーク 推進協議会・協議会員	秩父まるごとジオパーク 推進協議会会長	R4. 4. 1～ R5. 3. 31
田沼康雄 (奥村みほ子)	埼玉県希少野生動植物種 検討委員会委員	埼玉県知事 (みどり自然課長)	R3. 3. 15～ R5. 3. 14
井上素子	ユネスコエコパーク 保全活用委員会委員	山梨県森林環境部長	R4. 4. 1～ R5. 3. 31
小林まさ代	秩父まるごとジオパーク 推進協議会・運営委員	秩父まるごとジオパーク 推進協議会会長	R4. 4. 1～ R5. 3. 31
木山加奈子	武甲山特殊植物保護増殖 委員会委員	横瀬町教育委員会	R4. 4. 1～ R5. 3. 31
木山加奈子	埼玉県レッドデータブック 植物編改訂調査検討委員会委員	埼玉県知事 (みどり自然課長)	R3. 4. 1～ R5. 3. 31



Kobaton & Saitamatch

埼玉県立自然の博物館報 第19号

令和6年8月1日発行

編集・発行 埼玉県立自然の博物館

〒369-1305 埼玉県秩父郡長瀬町大字長瀬 1417-1

TEL.0494-66-0404 (総務)・0407 (学芸)

FAX.0494-69-1002

E-mail t660404@pref.saitama.lg.jp

URL <https://www.shizen.spec.ed.jp/>